

私の決意

多くの皆様のご支援で市長に就任させていただき12年。

現地現場主義を徹底し、幅広い市民の皆様から数えきれないほどの貴重なご意見、ご提言を頂き、そして何よりも勇気と感動を頂きました。

厳しい財政状況の中で、まさにいばらの道でありましたが、決して縮小一辺倒に陥ってはならない。そうした強い決意のもと、市民の皆様のお声を市政にいかし、また、市会との深く、時には厳しい議論を行いながら、徹底した市民参加と行財政改革、同和行政の完全終結、市役所の風土刷新など改革を断行しつつ、京都の今と未来のための政策を全力で進めてまいりました。

この間、京都の魅力・都市格が大きく向上し、創造的な人や企業が京都で生まれ、育ち、また集まり、悲願でもあった文化庁の機能を強化しての全面的な移転も決定するなど、国内外から高い評価を頂いています。

市民の皆様と夢や目標、課題、行動を共有するとともに、幅広い団体の皆様と力を合わせて、また京

都府や国とも連携しながら、オール京都、チーム京都で信頼と絆を築いてきたからこそ、成し得た大きな成果であると改めて実感し、ご協力・ご尽力を頂いたすべての方々に心から感謝を申し上げます。

多くの成果を市民の皆様と共有すると同時に、京都の未来のために、まだやらなければならないこと、道半ばで今がもっとも大切な時期にあること、そうしたことがございます。

人口減少や少子化の克服、長寿社会への対応、地球温暖化、相次ぐ自然災害、貧困・格差・孤立の克服、さらには、市民生活を最重要視した市民の豊かさにつながる持続可能な観光、しなやかで強靱なレジリエント・シティの推進、誰ひとり取り残さないSDGsへの貢献、そして、持続可能な財政の確立など、山積する課題解決への挑戦は決して容易ではありません。

このような難局を打開し、新たな展望を開いていくためには、「決めるまでは徹底的に市民ぐるみで議論する、決めたらぶれることなく実行する」という姿勢のもと、12年間で培ってきた私の経験と幅

広いネットワークが大きな力になる。市民の皆様と共に乗り越え、輝かしい京都の未来につなげていきたい。私にしかできないこと、大好きな京都のためにやらねばならないことがある。との熱い想いと京都への尽きぬ情熱のもと、出馬を決意しました。

市政、まちづくりは個人プレーではありません。市民の皆様や多くの団体・地域との連携、さらには京都府や近隣自治体、国との強固な連携、それらを含めた幅広い力が結集できなければ、どんな政策も決して実行に移すことはできません。

私がこの間貫いてきた、現地現場主義、共に汗する「共汗」、徹底した「政策の融合」が、京都のまちが持つ様々な強みを最大限発揮し、京都の未来を切り拓くと確信しています。

市民の皆様お一人お一人を想い、大好きな京都のために力の限りを尽くすことをお約束します。

かどかわ 大作



もくじ

2…… 私の決意

5…… かどかわ大作の夢と挑戦

1 人生100年時代の「安心」を創る!

6…… ① 保健医療・福祉・介護、安心安全、健康長寿のまちづくり

10…… ② 子育て・教育環境日本一、大学・学生のまちをさらに推進

2 「いのち」守る、防災減災先進のまちを創る!

14…… ③ 地域に根差した災害に強いまち・ひとづくり

18…… ④ CO₂排出正味ゼロへ! 持続可能な脱炭素・循環型社会を構築

3 力強い「経済」と都市の「活力」を創る!

21…… ⑤ 地域・中小企業の持続的発展と成長戦略で、力強い京都経済を実現

25…… ⑥ 活力ある持続可能な都市構築と歩いて暮らせるまち京都を推進

4 文化のチカラで、くらしとこころの「豊かさ」を創る!

28…… ⑦ 文化芸術・スポーツ都市、市民生活最優先の観光の京都モデルを構築

32…… ⑧ 歴史力・地域力をいかしたまちづくり

5 まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る!

35…… ⑨ みんなごとのまちづくり、区役所機能の更なる強化

37…… ⑩ 府市協調や国との強固な連携、持続可能な財政の実現

40…… 基本政策

次の京都へ、挑戦と改革。

～確かな実行力！「暮らしに安心、まちに活力、未来に責任」～

市民の皆様のご尽力で大きく向上した京都のまちの魅力。

この成果をしっかりといかし、さらに前へ進めていくため、私は、次の5点を政策の柱に据え、市民の皆様と共に、一人ひとりのお声を大切に「現地現場主義」に徹し、京都の新たな時代を切り拓き、未来を創造します。

「誰ひとり取り残さない持続可能な都市・京都」へ。京都が誇る市民力、地域力、文化・学術・産業など多様な力を結集し、緊密な府市協調、国との強固な連携、オール京都体制による「確かな実行力」で、「暮らしに安心、まちに活力、未来に責任」のまちづくりの新たなステージへ挑戦します。

1 人生100年時代の「安心」を創る！

誰ひとり取り残さないSDGsの理念のもと、いのちと暮らしを守る保健医療・福祉・介護、「子育て・教育環境日本一」を実感できる子育て支援・教育の充実

2 「いのち」守る、防災減災先進のまちを創る！

しなやかで強靱なレジリエント・シティへ！
緑豊かで地球環境への負担が少なく、災害に強いまちづくり・ひとづくり

3 力強い「経済」と都市の「活力」を創る！

文化・学術、大学の集積など、京都の強みをいかし、力強い経済と都市の活性化、市民の豊かさ実感

4 文化のチカラで、暮らしとこころの「豊かさ」を創る！

京都ならではの文化の継承・発展、新たな価値を創造し市民の豊かさにつなげ、平和に貢献する「世界の文化首都・京都」の実現

5 まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る！

参加と協働による「みんなごとのまちづくり」と、府市協調・国や近隣自治体との連携のさらなる進化、持続可能な財政の確立

市民の皆様と共に描く

かどかわ 大作の

夢と挑戦！



暮らしに「安心」

1 市民生活を最重要視。観光の今日的課題を解決！

例えば……観光地・市バスの混雑解消、安心安全や地域文化の継承・発展に貢献しない宿泊施設のお断り、マナー違反根絶、3つを柱に50の取組を強化、さらには、観光客や観光事業者を守っていただきたいモラルの策定・徹底 など

2 人生100年時代。安心・いきいき健康長寿を実現！

例えば……24時間365日の救急医療相談開始（府市協調）、ご高齢者の居住支援の充実、認知症のひとや家族への支援、買い物弱者への支援、さらには、介護予防や就労支援、社会参加の促進 など

3 若者・子育て家庭を全力応援！

例えば……子ども医療費助成の更なる充実（府市協調）、赤ちゃんの聴覚検査費助成の創設、保育所・学童クラブ待機児童ゼロ継続、児童虐待・貧困家庭・ひきこもりの若者等への支援を充実、さらには、中学校給食の充実 など

まちに「活力」

1 市バス・地下鉄をもっと便利に。新交通システムにも挑戦！

例えば……市バスの乗り継ぎ無料化、市バス均一区間の拡大、ダイヤ・路線の充実、京都カード・京都ポイントの創設*、烏丸線全駅に安全ホーム柵設置。

さらには、国や府、民間事業者と連携し、鉄道・バス・タクシーなど交通サービス利用の一元化、自動運転による新交通システム導入も含めた地下鉄ネットワークの更なる充実・強化への挑戦 など

※交通機関、商業施設、文化施設など幅広い用途に活用できるカードシステム

2 強い京都経済へ。「京都の宝」地域企業・中小企業を応援！

例えば……事業承継、担い手確保、販路拡大など地域企業・中小企業を全力応援、「起業するなら京都」をめざす環境づくり、就職氷河期世代の方への就労支援、さらには、「森の多様なチカラ」をいかす持続可能な森林づくり など

3 地域の新たなシンボルゾーンを市民提案・地域提案で創生！

例えば……「うちの地域には〇〇がある。これをシンボルにして「まち」の活性化ができないかな？私たちが頑張るので」という市民の皆様の提案実現に共に挑戦！

市民・地域の皆様と一緒に、魅力と活力あるまちづくりをさらに進めるため、緑豊かな地域も含め、若い方等の住居やオフィス・研究開発拠点等の働く場の創出、歴史文化・大学・産業等それぞれの地域資源をいかしたまちづくり など

未来に「責任」

1 持続可能な財政へ。宿泊税に続く新たな財源を創出！

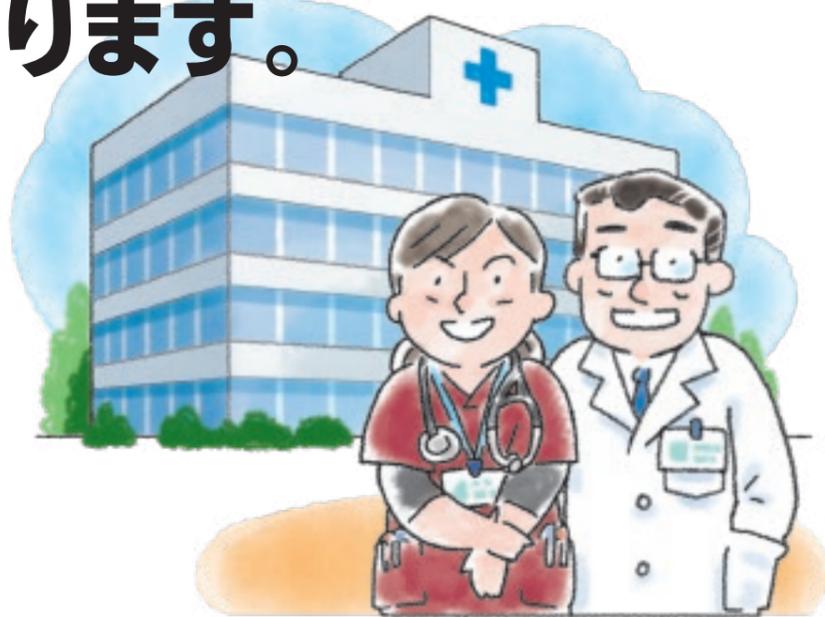
例えば……放置されて危険な空き家への課税の見直し・強化、京都ブランドをいかし首都圏に本社がある企業等への企業版ふるさと納税の強力な働きかけ、さらには、セカンドハウス所有者の方の適正な負担のあり方を検討し実行 など

1 人生100年時代の「安心」を創る!

誰ひとり取り残さないSDGsの理念のもと、いのちとくらしを守る保健医療・福祉・介護、「子育て・教育環境日本一」を実感できる子育て支援・教育の充実

1

保健医療・福祉・介護を充実し、人生100年時代を見据えた、安心・安全「世界に誇れる健康長寿のまち・京都」をつくります。



主な実績

- 「健康長寿のまち・京都市民会議」設立、高齢者施設を10年間で大幅拡充(324施設(20年度)⇒674施設(30年度))
- 「認知症初期集中支援チーム」を全市展開、認知症サポート医(39人(27年度)⇒73人(30年度末)・サポーター(73,727人(27年度末)⇒116,180人(30年度末)を増員
- 「京都市障害者休日・夜間相談受付センター」開設、24時間365日の相談体制を構築
- 「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」を全区展開、犯罪件数ピーク時の約1/4(42,395件(16年(ピーク時)⇒11,660件(30年))



主な施策

人生100年時代! 市民が主役の健康づくりで、「世界に誇れる健康長寿のまち・京都」に挑戦します

「健康長寿のまち・京都市民会議」を中心に、京都ならではの地域力や文化力をいかした健康づくり、フレイル^{※1}・オーラルフレイル^{※2}対策、医療や介護等データの活用によるデータヘルスの推進、がん検診の受診促進など、健康寿命を延伸します。

受動喫煙防止の徹底と共に、たばこを吸うひとと吸わないひと、心地よく共生できる取組を事業者等と連携して進めます。

※1 加齢による運動機能や認知機能等の低下
※2 加齢による口腔機能の低下

一人暮らしのご高齢者をはじめ、急病時の安心を提供 24時間365日の医療相談体制を構築します

24時間365日、急な病気やけがの際に相談できる救急医療相談体制を、府と府下全市町村との共同で令和2年度中に構築します。

救急隊の増隊など、現場への到着時間が政令市トップクラスの救急体制をさらに強化します。



8050問題へ対応を強化、ひきこもりの悩みゼロへ! ワンストップ相談・ネットワーク強化などで、社会からの孤立を防ぎます

ひきこもりなど、社会から孤立しているひとの相談窓口を一元化するとともに、医療・福祉・教育機関とのネットワーク強化、ひきこもり支援サポーターの配置などにより、切れ目のない相談・支援体制を構築します。

ご高齢者の寝たきりゼロへ! 安心・安全に暮らせる介護基盤の整備と、介護予防を推進します

特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなど、地域に根ざした介護サービス基盤を着実に整備するとともに、介護を支える担い手の育成支援・処遇改善や離職防止をさらに進めます。

保健協議会での健康づくり、地域で自主的な健康づくりを行うグループの育成・支援、介護予防プログラムの提供、移動支援の充実など、介護予防を強力に推進します。

ご高齢者の孤立ゼロへ! 住み慣れた地域で暮らせる「京都市版地域包括ケア」を充実します

ご高齢者が住み慣れた地域で、医療・介護・生活支援などのサービスを総合的に切れ目なく受けられ、安心・安全に暮らせるよう、地域包括支援センターとの連携強化、24時間対応型の在宅サービスの設置促進、在宅医療と介護との連携など、地域包括ケアを一層充実します。

社会参加の促進や若年性認知症支援など、認知症のひとと家族をしっかりと支えます

新たに支援コーディネータを配置し、若年性認知症支援を充実するとともに、認知症初期からの集中支援、市独自のアドバンスサポーターの更なる養成など、支援を充実します。

認知症のひとが新たに認知症と診断されたひとを支援する「ピアサポート」や、症状に応じた就労、「注文をまちがえる料理店」への支援、地域の子どもたちとの交流など、社会参加を促進します。

ご高齢者が社会の担い手として、いきいきと活躍できる場を広げます

ご高齢者の就労を支援するとともに、「地域支え合い活動創出事業」など地域で活躍いただく場や、ご高齢者と子どもが交流する機会をさらに充実します。

文化芸術・スポーツ活動や就労支援など、障害のあるひとがいきいきと活動できる場を充実します

障害のあるひとが地域で自立した生活を送れるよう、ニーズに応じたきめ細かな福祉サービスや、伝福・農福連携による伝統産業や農業の担い手をはじめ、障害のあるひとの就労を支援します。

文化庁の京都移転や東京パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を機に、障害のあるひとの文化芸術・スポーツ活動などへの支援を一層充実します。



発達障害のあるひとへのライフステージを通じた支援を拡充します

発達障害者支援センターに新たに地域支援マネージャーを配置し、重度の発達障害のあるひとの支援を充実します。個別支援ファイルを導入し、関係機関と共有することで、ライフステージを通じ、切れ目なく適切な支援を受けられる環境を整備します。

生活困窮にあるひとへの自立支援など、セーフティネットを充実します

経済的課題や社会からの孤立など生活困窮にあるひとへのきめ細かな相談や就労支援など、寄り添い支援を充実します。生活保護を受給されているひとの自立・就労支援をさらに進めるとともに、不正受給対策を徹底します。

また、民生児童委員や社会福祉協議会をはじめ、地域福祉の担い手として活動する団体等をサポートする仕組みを構築します。

国民健康保険料・介護保険料の負担を軽減します

国に抜本的な制度改革を求め、市独自の財政支援の継続、医療費適正化等により、国民健康保険料の負担を軽減します。生活習慣病の重症化予防のための訪問指導など、被保険者の健康づくりを一層進めます。

介護保険料についても、国制度を最大限活用し、低所得者の負担増の軽減に努めます。

府市協調の新たなシンボル! 機能強化した衛生環境研究所で、疾病予防や環境保全など、万全の体制を構築します

医療機関等と連携し、新型感染症や大規模食中毒などに速やかに対応するとともに、環境保全などの取組を強化します。

また、市民・地域に開かれた施設として、環境学習や地域イベントなどで活用します。

すべての施設に国際基準を! 食品の衛生管理を徹底し、食の安心・安全を守ります

すべての食品等事業者が令和3年5月までに、食品衛生管理の国際基準であるHACCPに沿った衛生管理を導入できるよう、食品衛生協会など関係団体と連携した周知啓発や導入支援、未導入施設への指導など、食の安心・安全を徹底します。

犯罪ゼロへ挑戦! 市民ぐるみ運動と再犯防止の強化で「世界一安心・安全なまち」をめざします

市民、京都市、警察等が一体となって、「世界一安心安全・市民ぐるみ推進運動」を進化させるとともに、「京都コンgres」での議論をいかした犯罪防止の取組、新たに再犯防止に向けた計画を策定し、保護司・更生保護団体等と連携した啓発や罪を償い再出発をめざすひとへの支援などにより、犯罪件数をピーク時の4万2千件から1万件以下に減らします。

初期相談から自立支援まで切れ目のないDV被害者への支援をはじめ、犯罪被害者等への支援を一層充実します。

児童の交通安全対策の強化とご高齢者の運転免許証自主返納を進めます

国や警察、地域等と連携し、近年、痛ましい事故が発生している通学路や、保育園、幼稚園等の周辺の交通安全対策を強化します。

また、ドライブシミュレーター体験や更なる啓発など、ご高齢者による交通事故防止対策を充実することで、運転免許証の自主返納を促進します。

市民や農作物に深刻な被害を及ぼす有害野生鳥獣への対策を強化します

府や近隣自治体と連携し、自然環境の保全・再生や生態系への影響も考慮しながら、有害野生鳥獣の捕獲・防除や狩猟者の育成など対策を強化します。

LGBTのひとなど性的少数者や外国籍市民への支援を充実するなど、多様性を尊重し、多文化が共生するまちづくりを進めます

同性カップルが社会的に認められるよう「同性パートナーシップ制度」の検討をはじめ、LGBTなど性の多様性についての啓発・支援を充実します。

今後増加が予想される外国籍市民への窓口対応や教育支援の充実、ヘイトスピーチの解消など、多文化共生のまちづくりを進めます。

「真のワーク・ライフ・バランス」と、女性の活躍を一層推進します

「真のワーク・ライフ・バランス」の理念の普及・実践と、柔軟な働き方や男性の育休取得推進など企業における働き方改革を推進します。オール京都で運営する「京都ウィメンズベース」等を拠点に、女性が希望をもっていきいきと働き、一層活躍できる環境づくりや男性の家事・育児を促進します。

殺処分ゼロへ! ひとと動物の共生社会を実現! 「動物愛ランド」を拠点に動物愛護を進めます

動物愛護センター「動物愛ランド」を拠点に、愛護団体や獣医師会、市民ボランティアと連携し、愛護意識やマナーの向上、虐待対策の強化、犬猫の返還・譲渡を進め、殺処分ゼロをめざします。

駅や道路のバリアフリー化の拡大をはじめ、ユニバーサルデザインを推進します

公共交通で安心・安全に、円滑に移動できるよう、駅と周辺道路のバリアフリーをさらに進めます。年齢や国籍、障害の有無等に関わらず、すべてのひとが暮らしやすい社会環境づくりをめざすユニバーサルデザインを推進します。

2

子育て家庭、 子ども・若者の孤立ゼロ 「子育て・教育環境日本一」、 世界があこがれる 「大学のまち・学生のまち京都」 をさらに推進します。



主な実績

- 保育所の増築など、11年間で利用児童数5,600人拡大、国基準を上回る保育士の配置などにより、保育所待機児童ゼロを6年連続達成、学童クラブも8年連続待機児童ゼロを達成
- 子ども医療費助成を拡充、3歳以上の通院自己負担額を3,000円/月から1,500円/月に引き下げ
- 子ども若者はぐくみ局の創設、各区に子育て支援コンシェルジュ機能を有した「子どもはぐくみ室」の設置
- スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置



主な施策

子育ての孤立ゼロへ!
オール京都ではぐくみ文化を創造・発信!
子どもを産み・育てる楽しさ・素晴らしさを感じられ、社会全体で子どもを大切に育む環境づくりを進めます

府や経済・労働団体、保育・教育機関・地域団体と共に、子どもを社会の宝として大切に育む京都ならではの「はぐくみ文化」の創造・発信を進め、子育ての孤立ゼロをめざします。

つどいの広場など身近な子育て支援機能や、公園等の遊び場、子どもを支援するネットワーク機能をさらに充実します。

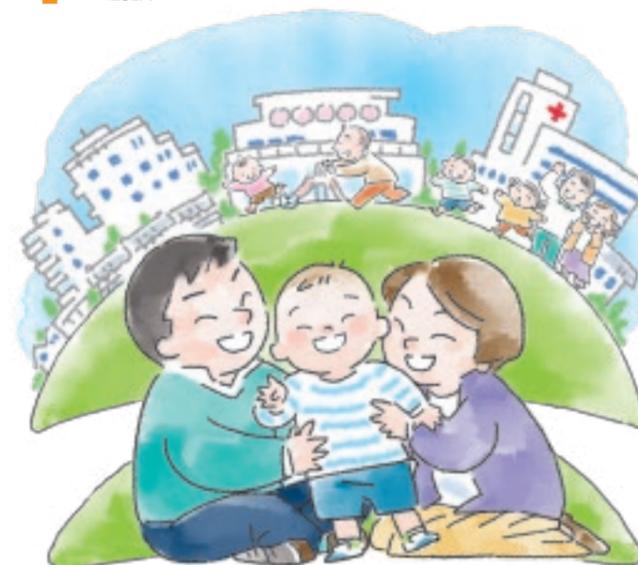
地域活動等を通じた社会貢献を促進・支援するなど、子どもの主体性を育みます。

子ども医療費助成のさらなる拡充、新生児聴覚検査助成制度の創設など、子育て家庭の経済的負担を軽減します

国と連携した幼児教育・保育の無償化を円滑に実施します。

市独自の子ども医療費助成制度を、府市協調によりさらに充実するとともに、子どもの医療費に関する恒久的な補助制度創設を国に強く求めます。

また、新生児の聴覚検査費用を助成する新たな制度を創設します。



「保育所待機児童ゼロ」継続!
多様な保育サービスの充実、担い手の確保など、保育の質と量を充実します

6年連続で達成した待機児童ゼロ継続のため、保育所等の増設や分園設置、幼稚園での預かり保育や2歳児接続保育の充実などにより、児童受入枠を拡充します。

障害のある子どもの保育、病児保育など、多様な保育サービスをさらに充実します。

府、大学、保育所等と連携した保育士確保や専門性向上、1歳児をはじめ市独自の保育士配置のさらなる充実や、処遇改善に努めるなど、保育の質の向上を図ります。

認可外保育施設の安心・安全の確保に向け、きめ細かな指導等を徹底します。

「学童クラブ待機児童ゼロ」継続!
全小学校区での学童クラブ機能確保に取り組みます

8年連続で達成した学童クラブ待機児童ゼロ継続のため、処遇の充実などに努めるなど質の高い職員を確保するとともに、小学校内での実施拡大など、全小学校区での実施をめざし、市内180か所に学童クラブ機能を確保します。

学童クラブと「放課後まなび教室」の連携を強化し、子どもの成長段階に応じた放課後の居場所づくりを行います。

医療的ケアが必要な児童の受入支援を充実します

経管栄養摂取やたん吸引など日常的に医療的ケアが必要な児童が通う保育所や幼稚園、学童クラブ等への看護師の配置拡大など、受入支援を充実するとともに、国に制度改善を強く求めます。

児童虐待ゼロへ挑戦!
対策の強化と、虐待を受けた子どもの社会的養育、施設等退所後の支援を充実します

児童相談所、各区・支所の子どもはぐくみ室の専門性向上、初期対応等の体制充実など、虐待の未然防止、早期発見、早期対応を強化します。

虐待を受けた子どもたちをより家庭的な環境で養育できるよう、児童養護施設等の小規模化・地域分散化や、里親委託等を推進します。また、施設等退所後の支援を充実します。

子どもの居場所づくりなど、 貧困家庭の子ども等への 支援を拡充します

コーディネータによる子ども食堂等の居場所づくりへの支援や、子ども宅食等貧困家庭への食料配送など、地域・民間団体が実施する取組への支援を拡充します。また、ひとり親家庭への支援や、生活困窮世帯の子どもの学習支援を充実します。

妊娠前から出産、子育てまで 切れ目なく支援します

各区・支所の「子育て世代包括支援センター」である子どもはぐくみ室を核に、医療機関等と連携し、不妊に関する支援や妊産婦の健康保持、産後ケア、乳幼児健康診査など、安心して妊娠・出産、育児ができるよう支援します。
また、民間団体等と連携し、婚活支援事業を充実します。

地域や保護者と共に、 全国に誇る京都ならではの 開かれた学校づくりと、 教育環境整備を一層進めます

全中学校区での小中一貫教育充実のため、小中学校合同での「学校運営協議会」の設置拡大、学校の実態に応じた柔軟な少人数教育などを進めます。Society5.0社会を見据え、STEAM教育(科学・技術・工学・芸術・数学)、プログラミング教育やAI・アプリを活用した学習、外国語教育などを充実します。

ICT学習環境の充実、校舎の長寿命化改修とバリアフリー化、体育館の防災機能向上や学校トイレの洋式化、特別教室の空調設置などを推進するとともに、新たな定時制単独高校、新たな普通科高校の開校に向けた整備を進めます。

児童・生徒の体力向上や運動部活動の充実、京都ならではのスポーツ少年団活動充実への支援等に努めます。

子どものまちの美化活動等地域活動への参加や、地域や市政への関心を高め実践につなげる主権者教育の推進、学校でのクラス名簿が共有できるよう支援するなど、人と人の絆を学ぶ絆教育を進めます。

生徒や保護者に喜んでいただける 中学校給食をさらに充実します

生徒や保護者を対象に実施した実態調査を踏まえ、献立の一層の充実をはじめ、中学校給食の更なる充実に取り組みます。また、保育園・幼稚園、小・中学校からの食育を充実します。

すべての子どもの学習習慣の定着と 学習保障・支援を拡充します

学習習慣の定着と基礎学力の向上のための「小中一貫学習支援プログラム」や、放課後等に学習機会を提供する「未来スタディ・サポート教室」を充実します。

看護師の配置拡大や通学支援など、発達障害や医療的ケアが必要な児童をはじめ障害のある児童・生徒への支援をさらに充実します。

子どもたちと向き合う時間確保と専門性向上のため、校務支援員の全校園への配置、部活動指導員・専科指導教員の配置拡充、ICTの活用など、教員の働き方改革を進めます。

いじめ・不登校ゼロへ！ ICTやSNSなども活用し、 いじめや不登校などの生徒・児童へ きめ細かく支援します

いじめや不登校、薬物使用等の未然防止、早期発見のため、SNSを活用した相談体制を充実するとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの体制・機能強化を図ります。不登校の児童の学習状況を的確に把握した個別指導を行うとともに、ICTも活用した家庭での学習支援を一層充実します。

また、SNSの利用に潜む危険性から子どもを守るネットリテラシー教育を進めます。

子どもたちに、京都ならではの 伝統文化、すまいやくらしの文化など 「ほんもの」の京都の魅力を 学ぶ機会を拡充します

文化庁の京都への全面移転を機に、市立小・中学校のすべての児童生徒について、小学校での茶道体験、中学校での華道体験や、中・高校生の能・狂言、着物の着付けなどを学ぶ機会を作るとともに、伝統と文化を重視した教材の使用等により、学びを充実します。

京都ならではのすまいやくらし方を学ぶ機会(住教育)を充実するとともに、生活に根付くくらしの文化をはじめ、家族の絆や地域とのつながりを大切にしながら健やかに育つ住まい方を促進する取組(住育)を進めます。

家庭でのしつけや 学校での道徳教育の充実等で、 いじめを許さないなど 子どもの思いやりの心を育みます

PTA、おやじの会をはじめ、地域、関係団体、学校、行政が一体となって、家庭の教育力向上の支援、学校での道徳教育の充実、生徒会活動の活性化に取り組み、子どもの思いやりの心や自己有用感を育むとともに、子どもが安心して生活し、学べる環境を実現します。

「大学のまち・京都」で学ぶ魅力の 向上と、京都企業への就職支援を 進めます

キャンパスプラザ京都に新たに、学生、研究者、地域企業、地域の方等が交流・活動する拠点を開設するなど、学生の力を地域や企業活動等にかす取組を拡充するとともに、学生生活の充実と京都への定着、地域企業等への就職につなげます。

さらに、WEBサイト「京のまち企業訪問」等で、優れた技術がある、先進的な働き方改革に取り組むなどの企業の魅力を学生へ発信し、地域企業をはじめ京都企業への就職を促進します。

単位互換制度において、京都ならではの文化・伝統を学ぶ科目や休日に教員免許等の資格取得に必要な科目を開設します。

新たな留学生交流・育成の拠点を 整備するなど、留学生の京都での 就職・定住を推進します

留学生の京都での就職・定住に向け、民間との連携により、留学生を中心とする宿舎を整備し、日本人学生や京都企業に勤める留学生OB・OG、起業家、地域住民等とのシェアハウスとして活用するなど、新たな留学生交流・育成拠点を創出します。

また、姉妹都市・パートナーシティと築いてきたノウハウも生かし、留学生と地域、子ども・若者との交流を促進します。

多文化共生を尊重する 教育環境整備を支援します

民間団体による、アフリカ出身学生や日本人奨学生向けの教育施設等の整備を支援するとともに、学生同士や地域住民との交流を図ります。

大学等によるインターナショナルスクールの開設を支援します。

奥深い京都の魅力を研究する 「京都学」の発展支援と、 「京都版リカレント教育」を充実します

大学や大学コンソーシアム京都と連携し、京都の歴史的価値や市民が大切にしてきた京都のくらし等を研究する「京都学」の発展を支援し、国内外に広めます。

大学等と連携した新たなリカレントプログラムを構築し、スキルやキャリアアップを通じて、幅広い人脈作りや地域の活性化に取り組む「京都版リカレント教育」を充実します。

青少年の多様なライフデザインの 形成や社会的自立を支援します

キャリア教育や社会体験の充実、ひきこもりの若者が安心して過ごせる居場所づくりなど、多様なライフデザインに応じた支援を行います。地域活動や市政への参加を促進し、若者が持つ多様な力をいかした社会づくりを積極的に進めます。

子どもから高齢者までの 生涯学習環境を充実します

京都アスニーや中央図書館の機能を充実するとともに、京都ならではの民間の豊富な生涯学習施設等と連携を深め、図書の実用、ICTを活用した学びの環境整備、伝統文化・伝統産業に触れる体験型講座の拡充、図書館の多言語対応などを進めます。



2 「いのち」を守る、防災減災先進のまちを創る!

しなやかで強靱なレジリエント・シティへ! 緑豊かで地球環境への負担が少なく、災害に強いまちづくり・ひとづくり

3

地域に根差した 「災害に強いまちづくり・ ひとづくり」で 市民のいのちと暮らしを 守ります。



主な実績

- 東日本大震災・熊本地震を受け127項目、大阪府北部地震・平成30年7月豪雨等を受け84項目の防災対策を推進
- 災害用備蓄の充実。計画をほぼ100%達成
- 河川・下水道雨水幹線の整備を推進。雨水整備率は全国トップ水準の91%(全国平均58%)
- 京都高速道路の新十条通(稲荷山トンネル)の無料化を実現
- 市内約2,900橋すべての点検完了、補強等が必要な橋りょうのうち61橋の対策完了
- 消防団員数54年ぶりに4,600人突破。うち女性団員500人超、学生団員200人超



主な施策

「森のチカラ創生・京都会議」を創設! 持続可能な森林をつくり、 市民のいのちと暮らしを守り、 豊かなくらしにつなげます

市内の75%を占める森林は京都の宝です。治水・土砂災害防止等の雨に強いまちづくりをはじめ、生物多様性の保全、CO₂吸収等の環境保全、良好な景観形成、木の文化の振興、くらしや経済を支える資源、アウトドア等のレクリエーション機能など、いのちと暮らしを守り、豊かさを育む森林の「チカラ」を最大限に発揮するため、市関連部局の連携・組織体制を構築し、地域・林業関係者等の幅広い方々と共に、持続可能な森林をつくります。

国や府と連携し、災害被害木の伐採・撤去や多様な樹種による植栽への支援と共に、計画的な安全点検の実施など、街路樹や公園樹木の倒木対策を進めます。

局地的な大雨等に備え、 下水道の雨水幹線整備、河川の改修、 水路・ため池の防災対策強化を 加速します

浸水被害から市民の命と財産を守るため、下水道雨水幹線の整備(現在までに学校プール1,210個分を整備)、市管理河川(341河川)の改修等を加速します。国・府の管理河川(39河川)についても、国・府に要望し、連携して改修を進めるなど、治水対策を強化します。

農業用水路やため池の防災機能強化と共に、IoTを活用した農業用水路の樋門管理、防災マップを用いたため池周辺の安全対策を徹底します。



土砂災害警戒区域の安全対策や 土砂対策条例の制定など、 総合的な土砂災害対策を 推進します

土砂災害警戒区域等におけるハザードマップの周知啓発、道路のり面の防災対策、建物の安全対策工事への支援、土砂埋立てに対する指導権限強化のための条例制定など、総合的な土砂災害対策を進めます。府に急傾斜地の崩壊対策を求め、連携して取り組みます。

EVを活用した 災害時の電源確保など、 市民や事業者との連携で ライフラインを確保します

電気・ガス・通信などライフライン関係機関と連携し、時系列に沿って取るべき行動計画を作成し、迅速な災害対応や早期復旧のための体制を整備・充実します。災害時の停電に備え、小型発電機の配備や電気自動車(EV、FCV)の活用による電源確保や、自家発電機設備の点検の徹底など、対策を強化します。

渋滞解消や リダンダンシー(多重性)*確保の ため、道路ネットワーク整備を 進めます

市民の利便性向上、交通渋滞の解消、物流の促進など経済の活性化、リダンダンシー確保のため、国等と連携し、向日町上鳥羽線の整備や、南北方向のボトルネック解消に向けた堀川通バイパスや鴨川東岸線の幹線道路整備を進めます。

大津方面や亀岡方面とを結ぶルート等の広域道路ネットワークについて、国や京都府、隣接自治体との連携を深め、有料道路事業などあらゆる知恵を結集し、実現に向け取り組みます。

市民生活に不可欠な生活関連道路の維持補修を着実に推進します。

*自然災害等の発生時に、道路の一部区間の途絶が道路ネットワーク全体の機能不全につながらないよう、あらかじめ代替の手段が用意されている状態

**緊急時の避難ルートや
支援車両等の通行を確保し、
市民のいのちとくらしを守るため、
橋りょうの耐震補強を加速します**

第2期「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に掲げた17橋の耐震補強、22橋の老朽化修繕を完了させたうえで、続く第3期計画を策定し、対策を加速します。



**まちの匠の知恵を活かした
住宅の耐震化、
社会福祉施設の耐震化を進めます**

大工、左官、板金、金物屋、瓦屋、建築士など、地域に根差す「まちの匠」の知恵を活かした京都型耐震リフォーム制度で、住宅の耐震化を加速します。

市営住宅等の市有建築物、消防分団の器具庫、民間保育園等の社会福祉施設の耐震化を進めます。



**南部エリアの新たな防災拠点整備や
水道配水管の耐震化など、
災害に強い上下水道を実現します**

市内南部エリアを所管する新たな事業・防災拠点を整備し、北部エリアを所管する太秦庁舎と南北2箇所を拠点に、災害や漏水・浸水事故に備えた危機管理体制を強化します。

浄水施設の耐震化や浸水対策、老朽化した配水管や下水道管の更新・耐震化を推進します。

**空地等の集約・再編の推進など、
密集市街地・細街路の
防災力を強化します**

防災上重要な細街路の拡幅整備、建物敷地の共同化・集約化など、災害時に避難や救助に支障をきたすおそれのある密集市街地や細街路の防災力を強化し、安全性や住環境を向上します。

**防災教育や防災訓練等を充実し、
市民の防災意識の向上に
取り組みます**

年代に応じた防災指導カリキュラムの積極的な活用や、学校全体で防災教育に取り組むセーフスクール推進事業の拡大など、防災教育を一層充実します。

消防団・水防団・自主防災会等との連携による防災訓練、防災マップの積極的な活用など、市民の防災意識の向上に取り組みます。

**災害保険への加入、
マイ・タイムラインの作成を
促進します**

災害に備え、家庭での備蓄や、市民・事業者の損害保険加入を促進します。

事業者のBCP(事業継続計画)策定を支援するとともに、市民の皆様一人ひとりに高い防災意識を持っていただくため、自身の防災行動計画をあらかじめ定める「マイ・タイムライン」や「我が家の防災行動シール」の普及促進・積極活用を進めます。

**地域力をいかした見守り活動を
充実し、障害のある方やご高齢者の
安全な避難行動を支援します**

民生児童委員、老人福祉員、社会福祉協議会等とのネットワークをいかし、プライバシーにも配慮したうえで要援護者リストをはじめ名簿を活用した見守り活動を一層充実し、災害時における障害のあるひとやご高齢者の安全な避難行動を支援します。また、個別避難計画の策定や福祉避難所の指定拡大を全力で進めます。

公共交通機関が途絶した場合に、妊婦やご高齢者等が一時的に待機できるスペースを駅周辺に確保します。

**避難所の円滑な開設・運営への支援、
安心安全な避難所環境の
整備を推進します**

自主防災会・自治会等と区役所・支所との連絡体制強化や、避難所運営マニュアルに基づく運営訓練を進め、避難所の円滑な開設・運営を支援します。

すべての避難所のトイレを洋式使用できるようにするほか、女性や子育て家庭をはじめプライバシーへの配慮、ペット同行避難の受入れ体制整備など、国際的な基準等も踏まえ、安全かつ人権にも配慮した避難所環境整備を進めます。

近年の災害等の分析から想定される最大避難者数を検証し、必要な避難所や公的備蓄を確保します。また、避難所に指定されている閉校施設の体育館等について、個々の状況を踏まえ、耐震化等の適切な維持・管理に努めます。



**地域と連携した住宅用火災警報器の
設置促進など、
「火災に強いまちづくり」を進めます**

火災時の避難指針を新たに策定するとともに、消防署によるきめ細かな防火指導の徹底、自主防災会や消防団等と連携した住宅用火災警報器の設置・取り換えの促進など、市民・地域・事業者と一体となって火災予防対策を進めます。

**女性・学生・若者も活躍中!
消防団・水防団の活性化支援を
一層推進します**

若者や女性、学生、会社を退職したアクティブシニア等の新規入団を促進するなど、地域防災の要である消防団・水防団の更なる活性化を支援します。

ジュニア消防団など将来のまちの防災の担い手を、地域と共に育みます。

**最新のオペレーションシステムを
備えた危機管理センターを拠点に、
防災体制を強化します**

自然災害・テロ・大規模事故・感染症等あらゆる危機に備え、危機管理センターを拠点に、ICT等を活用し、防災・危機管理体制を強化します。

被災状況を正確に把握し、迅速な復旧や救助活動につなげるため、ドローンやSNSなど新しい技術を積極的に活用します。

京都市防災ポータルサイトをリニューアルし、スマートフォン専用ページの展開や多言語化を進めます。

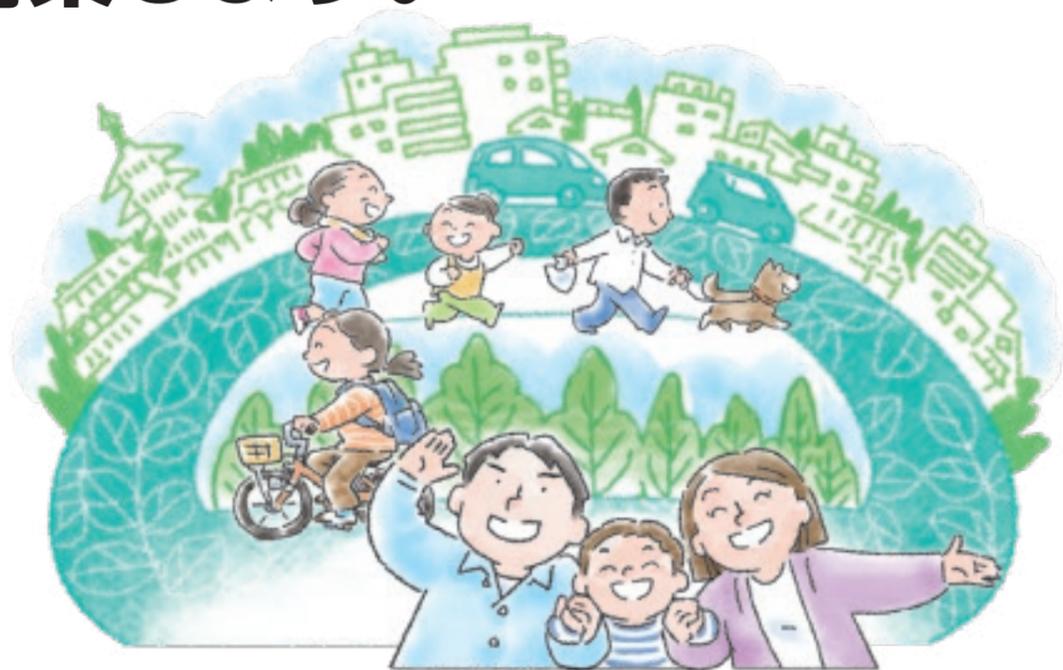
京都府や近隣自治体等と連携し、広域災害を想定した防災力を強化します。

**万一の原子力災害に備えるための
対策を進めます**

環境放射線モニタリングの実施、国や京都府、電力会社等との連携体制の整備など、安全確保のための体制を充実します。大飯発電所から32.5km圏内で、地域防災計画に基づく訓練を実施します。

4

CO₂排出正味ゼロへ! 市民ぐるみで 「環境にやさしい持続可能な 脱炭素・循環型社会」を 構築します。



主な実績

- ピーク時からのエネルギー消費量25.9%削減(ピーク時104,201TJ(9年度)⇒77,202TJ(29年度))
- ピーク時からのごみ半減以下(ピーク時82万トン(12年度)⇒41万トン(30年度))、処理費用154億円削減(367億円⇒213億円)
- 南部クリーンセンター第二工場稼働、バイオガス化施設併設、環境学習施設「さすてな京都」開設
- 気候変動に関する政府間パネル総会で採択された「IPCC京都ガイドライン」、 「1.5℃を目指す京都アピール」の発信



主な施策

2050年CO₂排出正味ゼロへ! 市民ぐるみで持続可能な 脱炭素社会実現に挑戦します

京都議定書誕生、「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」や「1.5℃を目指す京都アピール」発信の地として、都市間連携を主体的に進めるとともに、市民、事業者、大学などの知恵と力を結集し、2030年度 CO₂排出量40%削減(1990年度比)達成に向け、イノベーション創出、家庭や企業での一層の創エネ・省エネ、環境などに配慮したエシカル消費の普及啓発など、脱炭素社会実現に向けた意識向上と実践を図ります。

京都ならではの産学公連携で、 省エネルギーに資する イノベーションを促進します

京都発の植物性繊維由来CNF(セルロースナノファイバー)を活用した車体の軽量化、次世代SiC(シリコン・カーバイド)パワーエレクトロニクス技術を活用したモーターの省力化、軽量化など、産学公連携によるイノベーションで省エネを強力に進めます。



エネルギーマネジメントシステム (EMS)の活用など、 くらしの創エネ・省エネを応援します

省エネ性能の高い家電への買い替えや再エネ由来の電力の利用促進、家庭での電気等の使用を見える化し無駄をなくすエネルギーマネジメントシステムの導入支援、太陽光発電システムと合わせた家庭用燃料電池(エネファーム)設置助成など、くらしの創エネ・省エネを一層進めます。

「歩くまち・京都」の推進や 新技術の活用など、 交通・移動の脱炭素化を進めます

ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」を推進するとともに、AIやIoTを用いたカーシェアリング・MaaS等の新技術の活用や、次世代自動車(電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)等)への転換、LRTなど環境負荷の低い交通体系の構築などを図ります。

太陽光やバイオマスなど、 持続可能な再生可能エネルギーの 導入を拡大します

太陽光発電システムの導入促進、間伐材・生ごみなどのバイオマスの更なる活用等、固定価格買取制度に依存しない自立したモデルの構築を図ります。また、小水力や熱の活用など、地域での多様な再エネの拡充に積極的に取り組みます。

周辺自治体や企業等と連携し、再エネ由来の電力の地産地消、使用するエネルギーを2050年までに100%再エネとすることを宣言する「RE100」・「REアクション」の加盟促進など企業での再エネの活用等を進めます。

京都市長が会長を務める「指定都市自然エネルギー協会」において、再エネの普及拡大に向けた国への政策提言や、電力事業者に対する要請を強力に進め、原発に依存しない持続可能なエネルギー社会の実現をめざします。

主な施策

府市協調で 「地域気候変動適応センター(仮称)」 を設置します

猛暑や豪雨等、激甚化する気候変動の被害を回避・軽減する適応策を推進するため、府と連携し令和3年度中に「地域気候変動適応センター(仮称)」を設置します。

ごみ減量をさらに前進! ごみの出ない循環型社会の実現を めざします

令和2年度までに「ピーク時からのごみ半減以下(39万トン)」を実現するとともに、市民、事業者、大学などと幅広い議論を行い、ごみ減量を更に前進させます。

燃やすごみの4割を占める紙ごみや、生ごみをはじめ、ごみの更なる2R(発生抑制や再利用)と資源物の分別・リサイクルの推進、観光地でのごみの発生抑制・散乱防止などを強力に進め、市唯一の埋め立て処分地をできるだけ長く使うとともに、ごみ処理費用をさらに削減します。

使い捨てプラスチックの削減と プラスチックの資源循環を進めます

生態系に悪影響を与えるなど地球的規模で課題となっている海洋プラスチックごみ問題を踏まえ、マイボトル利用やプラスチック分別など直ちに実施できる取組「プラスチック資源循環アクション」を市民ぐるみで進めます。

マイバックの持参率を90%以上とし、レジ袋削減を進めるとともに、マイボトルで給水できるスポットを400箇所まで増やします。



もったいないをなくす! 全国をリードする 「食品ロス削減のまち」を実現します

全国初の食品スーパー等での販売期限延長の取組拡充、「食べ残しゼロ推進店舗」の拡大、フードバンクやフードドライブ(家庭で余っている食べ物を持ち寄り、寄付する行為)の普及促進など、食品ロス削減を強力に進めます。

里地里山や森林など 生物多様性豊かな自然環境の 保全・再生を進めます

生物の生息拠点となる水辺や緑地などと、小規模な緑地や街路樹、雨庭などで「緑の回廊」を形成し、生態系に配慮した緑豊かな潤いのあるまちづくりを進めます。

京都の祭りや文化を支えてきたフタバアオイ、チマキザサ、ヒオウギなどの生物資源、荒廃した里地里山、森林、放置竹林などの保全・再生に取り組みます。

地域での「エコ学区」活動や、 環境に配慮した企業活動など、 社会全体で環境にやさしい 取組を進めます

環境にやさしいライフスタイルへの転換に向け、学区単位で取り組む「エコ学区」活動の充実や、イベントや地域の祭り等での分別排出・リユース食器活用の徹底、生物多様性の保全活動など、地域でのエコ化をさらに進めます。

環境等に配慮したESG投資^{*}、企業でのRE100等の取組、地域企業条例の普及啓発など、環境にやさしいビジネススタイルの転換に果敢に挑戦します。

*環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に配慮している企業等を選別して行う投資

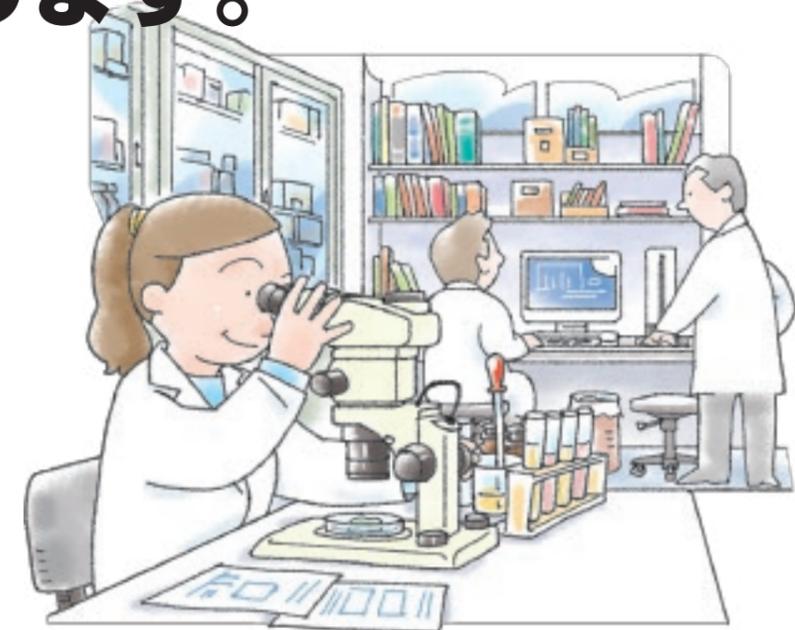
最先端の環境技術を楽しく学ぶ! 幼少期からの環境教育を充実します

小・中学校等はもとより、環境学習施設「さすてな京都」や京エコロジーセンターを拠点に、青少年科学センター、動物園、府立植物園、京都水族館等と連携し、あらゆる世代が身近な環境や生物多様性について楽しく学ぶなど環境教育をさらに充実します。

3 力強い「経済」と都市の「活力」を創る! 文化・学術、大学の集積など、京都の強みをいかし、 力強い経済と都市の活性化、市民の豊かさ実感

5

地域企業・中小企業の 持続的発展と、知恵産業の創造、 創業・イノベーションの創出など 成長戦略で、力強い京都経済を つくります。



- 主な実績
- オール京都で京都経済百年の計「京都経済センター」をグランドオープン
- 「地域企業の持続的発展に関する条例(地域企業応援条例)」制定、7つの応援事業実施
- 「わかもの就職支援センター」開設、雇用者数58.0万人(24年度)→63.7万人(29年度) 5.7万人増(うち正規4.2万人増)
- 京都ものづくりベンチャー戦略拠点「Kyoto Makers Garage」開設、「スタートアップ支援ファンド」創設



**京都経済センターを拠点に
産学公の知恵を融合し、
地域企業・中小企業の
支援強化と共に、新たな
イノベーション創出に挑戦します**

京都経済百年の計 京都経済センターを拠点に、地域企業・中小企業の育成・支援や繊維産業の振興を強化するとともに、産業の次代の担い手を育成します。

同センターのオープンイノベーションカフェ (KOIN) を核に、経営者や起業家、研究者、芸術家、学生等の交流・活動を促進するなど、新ビジネスやスタートアップ企業を創出します。

**地域企業・中小企業の販路開拓や
事業承継、担い手確保など、
持続的発展を支援します**

地域企業応援条例に基づき、「地域企業未来力会議」を核とした異業種交流、京都海外ビジネスセンター等と連携した海外展開など、販路開拓やイノベーション創出への支援を進めます。また、事業継続が困難な事業者への相談・支援を強化します。

若者と京都企業・大企業と中小企業との交流・マッチングや、生産性向上等企業の働き方改革の推進・発信など、地域企業・中小企業の担い手確保と学生等の京都企業への就職につなげます。

さらに、Society5.0社会を見据え、地域企業・中小企業のAI、IoT、ビッグデータ、5G等の活用を支援します。

**起業するなら京都!
京都版「スタートアップ・
エコシステム」を構築し、
世界有数のスタートアップ拠点都市を
めざします**

大学や研究機関、産業支援機関等との連携強化、学生や若者への起業家教育、スタートアップビザ制度の導入、さらには、学校跡地を活用した創業・イノベーション拠点や京都市立芸術大学(京都芸大)の移転を機としたスタートアップ創出拠点の整備など、オール京都で世界で活躍する起業家の創出・集積のための環境整備を進めます。近隣自治体等と連携して、国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の選定をめざします。

**新たな産業・学術研究・開発拠点用地や
オフィススペースの確保・創出など、
企業立地を進めます**

都市計画手法等を活用した先端産業等の用地やオフィススペースの確保・創出、企業立地ニーズ等と民間の不動産情報とのマッチング支援など、働く場の創出や市内企業の流出防止、企業誘致を一層進めます。

市南部の創造的なまちづくりを進める「らくなん進都」では、土地所有者奨励金の拡充や容積率の緩和、用途地域の変更等を進め、ものづくり拠点を創出します。

また、企業等の従業員の市内居住や公共交通利用を促進します。

**就職氷河期世代就職支援センター
(仮称) を開設!
雇用の質の向上と多様な働き手の
就労支援を充実します**

オール京都で、不本意非正規の正規雇用化をはじめ雇用の質の向上を進めるとともに、若者から中・高齢の方、女性、障害のあるひとなど多様な働き手の就労支援に取り組みます。

新たに、わかもの就職支援センター内に就職氷河期世代の相談窓口を開設し、地域企業をはじめ京都企業への就労を支援します。

大学生をはじめ、若者がワークルールやキャリア教育について学ぶ機会を充実します。



**ブラック企業・ブラックバイトは
許さない!
オール京都でブラック企業・
ブラックバイトの根絶に
取り組みます**

就職先やアルバイトで賃金の不払いや過重労働などを行わせる、いわゆる「ブラック企業・ブラックバイト」の根絶に向け、国や府などと連携し、相談・支援や周知・啓発を強化します。

**公共工事・サービスの
市内中小企業の受注拡大や、
地場産品の利用拡大など、
経済の域内循環を推進します**

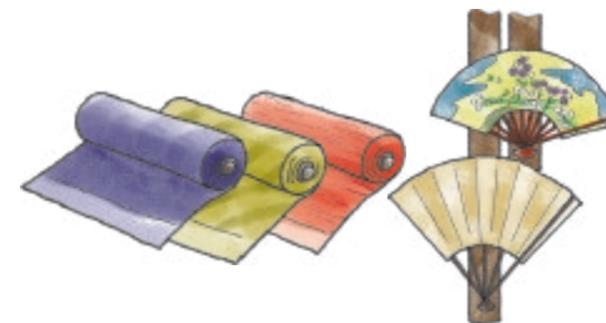
公契約基本条例に基づき、公共工事・サービスの市内中小企業への発注をさらに進めるとともに、週休2日制の推進など公契約に従事する労働者の適正な労働環境を確保します。また、SDGs推進企業や地域企業を応援します。

企業の市内取引や異業種交流の拡大、伝統産業など地場産品の利用拡大、農産物の地産地消など、経済の域内循環をさらに進めます。

**ベンチャー企業、知恵産業の
創出・成長を支援します**

「ベンチャー企業目利き委員会」「オスカー認定」「知恵創出“目の輝き”認定」などの優れた企業の認定制度により、発掘から成長まで一貫したサポートを強力に進めます。

ベンチャー企業等の製品を行政が積極的に購入するベンチャー購買制度の拡充や民間への導入の後押しなど、市場展開を加速します。



**京都国際マンガ・アニメ大賞
(仮称) を創設!
環境、医療・福祉、マンガ・アニメ・
ゲーム・映画など、
京都が強みを持つ成長分野の
市場拡大に取り組みます**

環境・エネルギー(グリーン)、医療・健康・福祉(ライフサイエンス)、マンガ・アニメ・ゲーム・映画(コンテンツ)など、京都が強みをもつ成長分野で、産学公・地域が連携し、付加価値の高い新事業創出と市場拡大を全力で推進します。

「京都国際マンガ・アニメ大賞(仮称)」を創設し、京都から世界に羽ばたくクリエイターを育成・発信します。

**京都をソーシャル・イノベーション
の聖地に!
社会課題の解決に向けた
イノベーションが生まれる
エコシステムを構築します**

「これからの1000年を紡ぐ企業」をはじめ社会的企業、ソーシャル・イノベーションに取り組む若手起業家やアクセラレーターが京都に集積し、SILK(ソーシャルイノベーション研究所)を拠点に、大学とも連携し、福祉、環境など社会課題の解決や、伝統産業・農林業の振興など、イノベーションが生まれるエコシステムを構築します。

**感動を匠の豊かさ!
伝統産業振興拠点
「京都伝統産業ミュージアム」を
リニューアルオープンします**

伝統産業を楽しみながら学び、伝統産業製品の消費拡大につながるよう、伝統産業ふれあい館を「京都伝統産業ミュージアム」としてリニューアル。artKYOTO等との連携を深め、企画展や展示販売の充実、食と伝統工芸とのコラボ事業などを実施します。

「京もの」など伝統産業製品の海外等への販路拡大を強力に進めるとともに、伝統産業従事者の技術継承、後継者育成、先端産業や福祉分野との融合を支援します。

**地域特性や資源をいかした
商店街づくりと、キャッシュレス化、
買い物弱者への支援を進めます**

商店街等の特性、資源をいかし、新規出店希望者と空き店舗所有者とのマッチング、NPO法人や学生団体等との連携、地域住民との交流などにより、商店街の活性化や加入促進、地域の魅力向上を図ります。

また、市民や観光客の買い物の利便性向上と店舗の収益拡大のため、キャッシュレス化を進めるとともに、事業者等と連携し、宅配サービスやAI・IoTを活用した個別配送など、買い物弱者の方を支援します。

**「ほんもの」の京都の魅力を発信!
最新技術を活用した
「サイバー京都館」など、
機能充実した新たな京都館を
整備します**

民間事業者と連携し、文化や伝統産業、観光など京都の魅力の首都圏での発信や、京都ファンが集い、学びあえる場として新たな京都館(東京)を整備します。

「のれん分け」事業に続き、新たに、5G通信技術を活用し、目の前の光景に解説を加えるなど現実社会を拡張する「AR」や別世界にいるような感覚が得られる「VR」などを用いた「サイバー京都館」を開発し、世界中の人々に京都の魅力を発信します。

**農林業の成長産業化と
適切な森林管理など、
「持続可能な農林業」の確立に
挑戦します**

新京野菜や品質に優れた露地野菜などの更なるブランド力向上、農産物の地産地消、地域資源を活用し加工・販売を行う6次産業化、AI・IoTを活用したスマート農業などを推進し、持続可能な都市農業の確立をめざします。

林業の成長産業化と適切な森林管理を両立させるため、林業経営の集約による効率化や適切に管理されていない森林の意欲ある林業者への管理委託など「京都市版森林管理システム」を構築するとともに、市内産木材の海外展開など販路拡大に取り組みます。

**京の食文化を創造・発信!
世界に誇る食文化の拠点として、
最新設備を導入した
中央卸売市場の再整備を進めます**

安心・安全な生鮮食料品の流通機能を高めるとともに、府の海・森・お茶の京都と連携した京都の食文化の創造・発信拠点とするため、市場関係者と共に、中央卸売市場(第一市場)の水産棟、青果棟の再整備を進めます。

また、食肉市場(第二市場)からの高品質な京都の食肉の世界展開を拡大します。



3 力強い「経済」と都市の「活力」を創る!

6

**安心と活力を生み出す
持続可能な都市の構築と、
ひとと公共交通優先の
「歩いて暮らせるまち・京都」を
推進します。**



- 主な実績
- ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の推進
 - ピーク時(平成12年)と比べ、マイカーで入浴する方が2割減少、鉄道・バスで入浴する方が3割増加
 - 駐輪場が10年間で2倍以上に増加、放置自転車台数はピーク時(昭和60年度)の100分の1以下に減少。自転車事故件数はピーク時(平成16年)の3分の1に減少
 - 市バス路線・ダイヤの充実、均一運賃区間の拡大、ICカードサービスの拡充
 - 10年間で地下鉄1日7万人増客、市バス1日5万人増客を達成



**子育て世代・若者が
住み続けられるまちへ！
新景観政策の更なる進化と
持続可能な都市構築プランにより、
居住環境や学術研究拠点、
オフィス空間を創出します**

将来にわたって魅力と活力ある保全・再生・創造のまちづくりに向け、京都の景観の守るべき骨格は堅持しつつ、住民の皆様のご意見を丁寧にお聞きしながら、高さ規制や用途規制の柔軟な運用など都市計画の手法を戦略的に活用します。

山科や竹田、桂川、洛西地域など、市内周辺部の中核的な拠点となるエリアでは、子育て世代等のニーズに合った住居や生活利便施設、オフィス等の働く場を創出します。また、らくなん進都等の工業系の地域では、オフィスや研究施設等の産業拠点となる機能を積極的に誘致するなど、地域ごとの特性やビジョンに応じた都市機能を誘導する仕組みを構築します。



**地域の新たなシンボルゾーンを
市民提案・地域提案で創生！
地域の主体的なまちづくりへの
支援を充実します**

宿泊施設の整備に先立ち近隣住民への構想説明を求めるルールの拡充や、宿泊施設のバリアフリーなど新たな設備基準を制定し、宿泊施設と地域との調和を図ります。

地域へのコンサルタント派遣事業やプランニング助成制度の創設、まちづくりビジョンの策定支援、地域の住民と事業者・大学・NPO等との連携支援など、地域特性をいかした住民主体のまちづくりを支援し、市民提案・地域提案で地域の新たなシンボルゾーンを創生。これを核に地域の更なる魅力向上や活性化につなげます。

**住み慣れた地域で、安心して
住み続けられるよう、ご高齢者や
若者への居住支援を充実します**

不動産事業者や福祉関係団体と連携し、ご高齢者が安心して入居できるすこやか賃貸住宅の拡充、住み替え等に関する相談事業、見守り活動等の生活支援の充実、自治会等の地域活動に関する情報発信など、ご高齢者をはじめ誰もが安心して住み続けられる居住環境の確保を進めます。

また、子育て世帯・若年層世帯向けに、市営住宅等の空き家を改修し、入居を促進します。

**交通結節機能の分散化や
四条通地下通路の活性化など、
快適な歩行空間を創出します**

パークアンドライドの推進、円滑な物流の促進、駅等のバリアフリー化、交通結節機能の分散化による混雑緩和、四条通地下通路に賑わいを生むための更なる活性化など、快適な歩行空間の創出を進め、環境負荷の低減や健康長寿の推進にもつながる、ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」をさらに推進します。

**都心部の混雑緩和と
交通不便地域の足の確保を同時実現！
「新たな交通システム」実現に
挑戦します**

国や研究機関、民間事業者との協議をさらに加速。鉄道・バス・タクシーなどあらゆる交通機関を有機的に結び付け、サービスを一元化するMaaSの導入に取り組みます。

また、自動運転による新交通システム導入も含めた地下鉄ネットワークの更なる充実・強化など、ご高齢者をはじめ誰もが安心・便利・快適に移動でき、いきいきと暮らせる未来の交通システム実現に挑戦します。



**市民のくらしをもっと便利に！
市バスの無料乗継ぎをはじめ、
幅広い用途に活用できる
「京都カード・京都ポイント」創設に
取り組みます**

観光客等に現行以上の負担を頂くとともに、市民の皆様や京都で働く方の利便性を高めるため、ICカードを活用した市バスの乗継ぎ無料化など、より利用しやすい市バス・地下鉄の料金制度を構築します。

さらに、交通機関はもとより、地域の商業施設・文化施設等への利用、敬老乗車証制度との連携も含めた健康長寿の推進など、幅広く活用できる「京都カード・京都ポイント」創設等により、市バス・地下鉄をはじめとする公共交通の利便性を一層高めます。

**地域や民間事業者と連携し、
交通不便地域の公共交通の
維持・確保に取り組みます**

右京区南太秦学区や山科区鏡山学区等でのモビリティマネジメントの成功事例をいかし、自動運転等の新しい技術の活用も視野に入れ、バス路線の充実・増便・バス待ち環境の充実など、交通不便地域における公共交通の維持・確保に向け、地域と共に取り組みます。

**市バス運転士・整備士の担い手確保、
地下鉄烏丸線のホーム柵設置など、
市バス・地下鉄の安全な運行を
推進します**

バスの安全運行を支える運転士・整備士の担い手育成・確保に向け、民間事業者とも連携し、合同説明会の実施や若者・女性等に向けた魅力の発信、国への要望等を行います。

お客様の安全確保のため、地下鉄烏丸御池駅、四条駅、京都駅に続き、令和4年度中に北大路駅へホーム柵を設置します。さらに、烏丸線全駅への可動式ホーム柵設置に向け、速やかに計画を策定し、計画に基づく事業を進めます。

**市バス均一区間の更なる拡大や、
前乗り後降り方式の拡充、
ダイヤ・路線の充実など、
市バス・地下鉄の利便性を向上します**

市バス均一運賃区間の更なる拡大や、混雑解消のための前乗り後降り方式の拡充、夕方ラッシュ時の地下鉄ダイヤの充実など、市バス・地下鉄の利便性・快適性を一層向上させます。

**北陸新幹線の円滑な整備など、
広域鉄道網の充実に向けて
取り組みます**

京都と全国をつなぐ広域鉄道網（北陸新幹線・リニア）の充実に向け、オール京都で取り組みます。市民生活や経済活動への影響に最大限配慮した北陸新幹線の円滑な整備の推進、国の責任ある費用負担を求めます。

**環境・防災・歴史を学べる
“全国随一”の交通公園として
大宮交通公園をリニューアルします**

交通ルール・マナーを学べる交通公園機能に加え、歴史的価値のある御土居や北消防署が立地する好条件をいかし、Park-PFI制度により民間活力を活用し、楽しみながら環境・防災・歴史文化に触れられる公園として、大宮交通公園を再整備します。

**利用ルール・マナーの徹底、
走行・駐輪環境整備の推進など、
安心安全な自転車共存都市・京都を
実現します**

誰もが安心して自転車を利用でき、歩行者も安全なまちの実現に向け、ライフステージに応じた自転車安全教育・学習の充実、外国人観光客へのルール・マナー啓発、保険加入の促進、自転車走行環境の整備や駐輪需要に応じた駐輪場の整備、徹底した放置自転車撤去を進めます。

4 文化のチカラで、暮らしとところの「豊かさ」を創る!

京都ならではの文化の継承・発展、新たな価値を創造し市民の豊かさにつなげ、平和に貢献する「世界の文化首都・京都」の実現

7

豊かなくらしを支える 「文化芸術・スポーツ都市」を 実現、市民生活を最優先に、 地域の活性化、 文化の継承・創造につながる 観光の京都モデルを構築します。



主な実績

- 機能強化された「新・文化庁」の京都への全面的な移転が決定
- 文化芸術都市・京都のシンボルとなる京都市京セラ美術館を再整備
- 全市立小・中・高等学校で茶道・華道などの伝統文化を体験
- 宝が池公園体育館の整備完了、西京極総合運動公園・横大路運動公園の整備を推進
- 全国一厳しい住宅宿泊条例制定、違法民泊の99%超を閉鎖など
- 観光消費額3年連続(28~30年)1兆円突破、宿泊客数と共に過去最高
(消費額:1兆3,082億円(30年) 宿泊客数:1,582万人(30年))



主な施策

東京と京都が都の機能を双方で果たす「双京構想」の実現をめざします

日本の大切な皇室の弥栄のために、京都にも皇室の方にお住まいいただくなど、東京と京都が都の機能を双方で果たす双京構想の実現に向け、品格あるまちづくりや機運の醸成に全力で取り組みます。

文化の力で世界平和に貢献! 文化庁と共に、京都・日本文化の振興、魅力発信を進めます

オール京都で、機能強化した「新・文化庁」の円滑な全面的移転を進めます。

新・文化庁と連携し、京都文化力プロジェクトをはじめ、京都コンgres、東京オリンピック・パラリンピック、日本博、ワールドマスタースゲームズ2021関西、大阪・関西万博等を契機に、京都・日本文化の魅力発信し、文化の発展を経済活性化につなげます。

世界文化自由都市宣言を理念とする京都の文化を国内外に発信し、世界平和の実現、人権の尊重、地球規模の環境問題の解決、文化の保全継承、産業の発展など、世界の文化交流の中心として国際的な課題解決に積極的に貢献します。

文化と経済の好循環を創出! 文化芸術の持続的発展を支える京都版アート・エコシステムを構築します

将来にわたって文化芸術が持続的に発展できるよう、京都映画賞・文学賞、artKYOTO、学生アートオークションなど、京都の作家・作品の国内外への魅力発信やネットワーク形成を支援します。

岡崎地域で開催するKYOTO STEAMなど、アートとサイエンス・テクノロジーとの融合により新たな価値創出を進め、文化と経済の好循環による文化芸術市場の活性化・拡大を図ります。

文化芸術による共生社会実現に向け、障害者芸術の推進や、福祉施設における文化芸術活動への支援の充実を図ります

障害のある方の文化芸術作品の公開・展示・販売の促進など、障害者芸術をさらに推進します。

福祉施設等における文化芸術活動への相談窓口の設置やコーディネータの育成など、文化芸術が持つ社会包摂の機能をいかし、障害のあるひとや高齢者など、誰もが文化に親しみ、豊かにくらすことができる共生社会をめざします。

博物館・美術館等を拠点に、地域の多彩な文化資源のネットワークを形成します

ICOM京都大会の成功をいかし、国内外の博物館・美術館との連携強化を図るとともに、多くの文化交流施設が集積する岡崎地域や、京都芸大が移転する京都市駅東部エリア、東南部エリアを拠点に、地域の多彩な文化資源のネットワークを形成し、奥深い京都の文化の魅力発信、回遊性の向上に取り組みます。

京都市京セラ美術館の開館記念事業や日本博、令和2年度に開設20周年を迎える芸術センターや、25周年を迎えるコンサートホールにおける記念事業の実施など、多彩で魅力的な文化事業を展開します。



生物多様性、環境を学べる 文化教育施設に! オンリーワンの動物園をつくります

国内外の希少種の保全、府立植物園・京都水族館・青少年科学センターとの連携による生物多様性及び環境保全に関する教育機能の充実、京都芸大をはじめとする教育機関との連携による文化の発信など、文化教育施設としてオンリーワンの「近くて楽しい動物園」をつくります。

「音楽文化創造都市・京都」実現へ! 音楽を通じたひと・まちづくりを 進めます

京都市交響楽団によるまちかどコンサートや小中学生への音楽鑑賞教室の実施、演奏会の動画配信、京都芸大をはじめ幅広い大学等の教育機関や京都市ジュニアオーケストラ、各学校等の吹奏楽部との連携による担い手育成など、音楽を通じた京都のひと・まちづくりを進めます。

市民生活を最優先! 一部の観光地の混雑緩和を 強力的に推進します

時期・時間・場所3つの集中の分散化をさらに強化します。

朝や夜の観光メニューの充実、伏見・大原・高雄・山科・西京・京北の魅力を紹介する「とっておきの京都」プロジェクト、海・森・お茶の京都など府や周辺自治体との広域観光、さらには、AIやビッグデータを活用し、HP閲覧解析を通じた分散化や観光快適度の見える化など、混雑緩和を強力的に推進します。

市民の方が快適に利用できるよう 市バスの混雑対策を徹底します

前乗り後降り方式の車両の拡充、地下鉄をはじめJRや私鉄との連携強化、ポイント還元制度の導入によるICカードの利用促進、バスとバスの無料乗継など、移動経路の分散化や乗降時間の短縮を一層進めます。

安心・安全や地域文化の発展・継承 などに貢献しない 宿泊施設をお断りします

地区計画や建築協定の活用、バリアフリーなど新たな設備基準等の制定、「地域協働・貢献型宿泊施設促進制度」など都市政策等のあらゆる政策を駆使し、地域の安心・安全、固有の文化の発展・継承などに貢献しない宿泊施設をお断りします。

住宅宿泊条例に基づく日本一厳しい市独自の規制や警察との連携により、99%閉鎖させた違法民泊を根絶するとともに、令和2年4月からの改正旅館業法に基づく簡易宿所等の営業者等の常駐義務など、宿泊施設の適正な運営を徹底します。

訪日外国人をはじめ観光客の マナー違反への対策を徹底します

多くの外国人が訪れる地域の特性を踏まえたルールの策定、巡視員による多言語での啓発、ICTを活用した周知・啓発、地域で取り組むマナー啓発等への助成拡充など、観光客のマナー対策を強化します。

さらに、観光事業者や外国大使館、観光庁と連携し、出発前、機内、入国から入洛までの啓発を徹底します。

郷に入れば郷に従う! 観光客等に京都で守っていただきたい モラルを策定・徹底します

国連の「観光・文化京都宣言」に明記された「京都モデル」の理念に基づき、観光客・観光事業者等に京都で尊重し、守っていただく行動規範を策定し、その遵守を徹底します。



観光で市民生活を豊かに! 好調なインバウンド需要やMICEを、 伝統産業・文化、商店街・商業、 農林業など更なる京都経済の 活性化と市民の豊かさに繋がります

東京オリパラやワールドマスターズゲームズ2021関西、大阪・関西万博を好機とし、食やスポーツを通じた観光、アートやグリーンツーリズム、地域貢献型MICEの推進、府との広域連携や市内周辺地域への分散化などによる宿泊観光などで、観光消費を促します。キャッシュレス決済や免税店の拡大、多言語対応、京都ならではの文化体験やユニバーサルツーリズムの充実など、観光客の受入環境を整備します。

併せて、飲食・宿泊施設等での伝統産業品、市内農林産物の利用促進などにより、観光消費の域内循環を進めます。

大学や事業者等と連携し、観光関連産業の担い手確保と育成、従業員の安定雇用の実現をめざします。

国立京都国際会館・多目的ホールの 5,000人規模への拡充整備の 早期実現に取り組みます

「京都らしい設え」を施して整備された2,500人規模の国立京都国際会館・多目的ホールについて、MICE施設のグローバルスタンダードである5,000人規模への拡充整備を京都府と連携して国に強く要望し、早期実現します。

市民力をいかしたおもてなしで ワールドマスターズゲームズ 2021関西を盛り上げ、 京都の伝統と文化、 魅力を世界に発信します

岡崎エリア一体で開催するワールドマスターズゲームズ2021関西の開会式を、市民力をいかしたおもてなしで盛り上げます。大会の開催期間中に、市内施設で様々なイベントを実施するなど、生涯スポーツの振興、健康長寿社会の実現と共に、世界に向けて京都の伝統と文化、魅力を発信します。

地域スポーツを支える担い手を 育成し、生涯スポーツの 更なる振興に取り組みます

ゴールデン・スポーツイヤーズで高まるスポーツの機運をいかし、体育振興会やスポーツ推進指導員、スポーツ協会、スポーツ少年団をはじめとする市民スポーツ振興の担い手確保や育成支援を進めます。現役を引退したアスリートによる身近な場所でのスポーツ教室・健康教室など、誰もがスポーツに親しむことができる環境を整備します。

京都府や民間事業者等と連携し、 西京極総合運動公園、 横大路運動公園、水垂運動公園(仮称) などの整備を進め、 スポーツ環境の充実を図ります

府市協調のもと、民間事業者の支援も得ながら、西京極総合運動公園(たけびしスタジアム京都)の計画的改修と、横大路運動公園の再整備・防災機能強化などを進めます。水垂上桂線(令和4年度まで)及び宮前橋(令和6年度まで)の開通にあわせ、水垂地区の広大な埋立地(約16ha)における運動公園、さらには、バスケットボールをはじめとする室内競技の更なる振興のためのアリーナなど、官民協働によるスポーツ施設整備の事業化等を進めます。

姉妹都市等との国際交流を深め、 相互のまちの発展、 世界平和に貢献します

姉妹都市・パートナーシティ、世界の100のレジリエント・シティ、世界歴史都市会議などを通じた都市間の国際交流を積極的に進め、SDGsの達成や世界平和、人権、環境、文化・産業の発展など国際社会に貢献します。経済、まちづくりなど幅広い分野での連携も一層深め、相互のまちの発展につなげます。

国際交流会館、多文化共生総合相談ワンストップセンターを拠点とした留学生・外国籍市民への生活支援の充実など、京都ならではの多文化共生のまちづくりを進めます。

8

京都の自然や 歴史・文化遺産など 「歴史力・地域力をいかした まちづくり」を進めます。



- 主な実績
 - 市民の皆様のご協力で屋外広告物の適正化が画期的に前進。適正化率は97.5%に
 - 京町家の保全及び継承に関する条例を制定、改修等への助成制度等を創設
 - 地域特性を活かしたまちづくりビジョン等の策定・推進(西陣、岡崎、山科、京都駅西部・東部・東南部エリア、洛西・向島ニュータウン、西京・洛西地域など)
 - 市民が残したいと思う「京都を彩る建物や庭園」「京都をつなぐ無形文化遺産」「まち・ひと・ところが織り成す京都遺産」制度の推進



主な施策

文化の担い手育成や文化遺産等の保全、ICT等を活用した新たな価値の創出など、文化財の保存と活用の好循環を創出します

くらしの文化や、有形無形の文化遺産等を将来に継承するため、新・文化庁と連携し、小中学校や児童館等での伝統文化体験の充実、伝統技術の継承、文化遺産とその周辺環境の一体的な保全、ICT等を活用した新たな魅力や価値の創出・発信、ユニークベニューとしての活用など、文化財の保存と活用の好循環を創出します。

京都の誇りである和装(きもの文化)、華道、茶道、庭園文化等を振興し、「和の文化」のユネスコ登録を支援します

東京オリンピック・パラリンピック等の機会を捉えた世界への魅力発信など、京都の誇りである和装(きもの文化)、華道、茶道、庭園文化等を振興し「和の文化」のユネスコ登録を支援します。また、いけばな文化と連携した花関連産業をはじめ、くらしの文化を支える産業を活性化します。

市民ぐるみ・地域ぐるみで、地震や火災等から京都の文化財を守ります

地震や火災等により国内外で貴重な文化財が滅失している状況を踏まえ、市民と共に文化財を守る体制の充実や、伝統的建造物群保存地区等における防火指導の徹底など、文化財関係者、市民、地域と一体となって防火・防災対策を推進します。

新築京町家の認証制度の創設など、京町家の保全・活用・継承を進めます

京町家の文化的価値やくらしの知恵を次世代に引き継ぐため、マッチングや改修工事等への支援拡充など、所有者の方に寄り添った保全・活用・継承を進めます。新たな認証制度を創設し、京町家の意匠・知恵を継承した住宅の新築等を支援します。

京都ならではの魅力的な夜の景観づくり、まちなみに調和した広告景観の誘導に取り組みます

市民生活に配慮した夜間の環境向上や、新たな魅力創出に向け、夜間景観づくりに向けた指針を策定し、地域の特性に応じた風情ある夜の景観を創出します。屋内広告物への新たな規制の推進や、優良な屋外広告物への助成・表彰等により、まちなみに調和した広告景観を誘導します。

全国のモデルとなる京都方式の無電柱化を着実に進めます

低コスト手法などを採り入れた無電柱化事業を推進し、地震・台風時の電柱倒壊による停電回避など都市災害の防止と共に、道路景観の向上を図ります。三条通(三条大橋西詰～河原町通)では無電柱化とあわせて歩道を拡幅します。世界遺産や歴史的建造物の周辺地域等で、石畳風舗装等の景観に調和した道路整備を進めるなど、都市格をさらに向上します。

危険空き家の放置を防止し、流通・活用を促進! 固定資産税の特例措置の見直しなど、総合的な空き家対策を推進します

危険な空き家が放置されることのないよう、所有者等への指導強化、固定資産税等の住宅用地特例の見直しと新たな負担のあり方の検討・実施、学生の住まいやオフィスへの活用促進など、地域や専門家等と連携して「空き家の発生予防」「活用・流通の促進」「適正管理」に総合的に取り組みます。

名勝円山公園の再整備、まちなかの日本庭園「雨庭」や街路樹の整備など、四季が感じられる花と緑あふれるまちをつくります

多くの市民や観光客に親しまれてきた円山公園、東本願寺前の市民緑地、大宮交通公園、東山山頂公園の整備など、Park-PFI制度等により積極的に民間活力を活用し、まちの魅力と活力の更なる向上につながる公園、緑地整備を積極的に推進します。雨水の流出抑制やヒートアイランドの緩和などの効果を持つ新たなグリーンインフラである雨庭の整備、四季折々の街路樹の整備など市内の緑化を進めます。

京都の宝・森林や農地の保全・継承、持続可能な発展に向け、農林業の振興、住環境の充実、働く場の創出などを進めます

防災、環境、景観、経済、文化、観光など、多面的な機能を持つ森林を保全し、将来に継承するため、市関連部局の連携・組織体制を構築し、地域・林業関係者等の幅広い方々と共に、山間地域の活性化に全力を挙げて取り組みます。

市街化調整区域の集落の持続可能な発展に向け、地域コミュニティの維持・活性化、空き家活用促進をはじめ必要な住宅の確保、農林業の一層の振興や6次産業化施設など働く場の創出、移住の促進等につなげるための新たな戦略的手法の検討など、総合的な対策を進めます。

西陣ブランドを世界へ発信！地域・事業者等と共に、西陣を中心とした地域の活性化に取り組みます

「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」に基づき、市民や民間事業者等の幅広い主体と共に、地域の歴史・文化の継承、新たなイノベーションの創出、地域全体で起業家を育てるスタートアップスタジオ構想など、「温故創新・西陣」を進めます。

住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまちへ！「未来の山科まちづくり戦略」を推進します

「京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略」に基づき、大学との連携による地域コミュニティの活性化や、都市計画手法の活用による若者・子育て世代のニーズに合った居住環境の確保など、地域の賑わいや活力の創出に取り組みます。

京都刑務所の移転・跡地の有効活用に向けた取組を着実に前進させます。

京都芸大を核とした文化芸術・ビジネスの創造拠点の創出など、京都駅周辺エリアのまちづくりを市全体の活性化につなげます

京都駅東部エリアに、オフィスやコワーキングスペース、研究施設等を備えたビジネスの創造拠点を創出す

るなど、京都芸大の移転を契機に、アートとサイエンス、テクノロジーの融合を一層促進し、イノベーションの創出、スタートアップ・エコシステムの構築を進めます。

梅小路公園や中央市場等を核とする西部エリアや、文化芸術を基軸として多文化共生・多世代交流を促進するまちづくりが進む東南部エリアなど、京都駅周辺の各エリアのネットワークを強化し、広域的な人の流れを生み出します。

つながり・しごと・くらしを育てるまち！洛西地域をはじめ西京区の更なる活性化を進めます

「西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン」に基づき、洛西ニュータウンの教育・子育て環境の充実、新たな技術活用も含めた交通利便性の向上、大原野や大枝等の豊かな農業資源をいかした観光プログラム開発や土地活用の研究、ビジネス振興など、洛西地域をはじめ西京区の更なる活性化に取り組みます。

京都芸大移転後の跡地については、住民の皆様の思いをしっかりと受け止め、イノベーション創出拠点を含めた有効活用を進めます。

向島ニュータウンの更なる活性化を進め、くらし心地を誇れる「多文化共生・多世代共生」のまちづくりを進めます

向島ニュータウンの更なる活性化に向け、市営住宅への学生の入居促進、学校教育・子育て環境の更なる充実、アフリカ遺児支援100年構想に基づく教育施設との連携などを進め、誰もが安心していきいきと暮らせる多文化・多世代共生のまちづくりを進めます。

地域の活性化、京都の更なる発展のため、市有地や国有地の有効活用に取り組みます

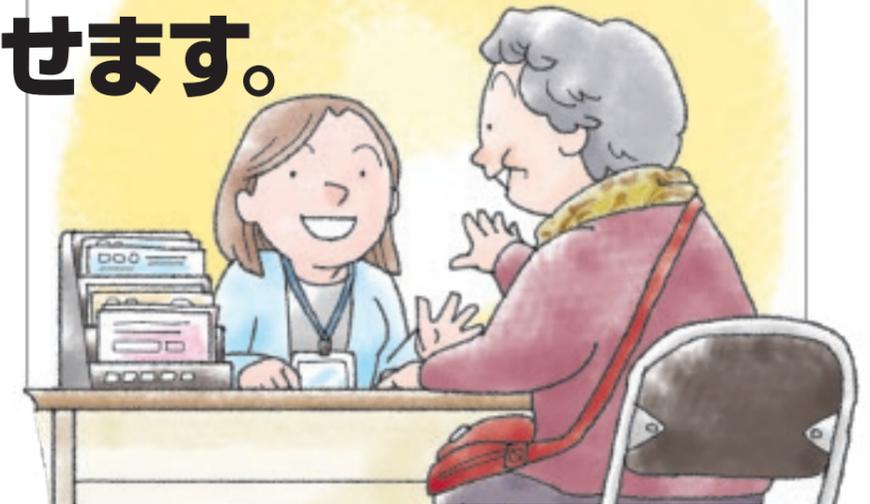
市民生活を最重要視し、地域の一層の活性化や魅力向上のため、施設の統廃合や土地利用の最適化により生み出された市有地の有効活用を促進します。

京都刑務所、拘置所、運輸支局など交通利便性の高い市街地に立地する国有地の有効活用実現に向け、市民全体の機運醸成、具体的な活用案や移転先案提示も含めた国への要望を強力に進めます。

5 まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る！
参加と協働による「みんなごとのまちづくり」と、
府市協調・国や近隣自治体との連携のさらなる進化、持続可能な財政の確立

9

市民が主役の「みんなごとのまちづくり」と区役所機能の更なる強化で、「参加と協働によるまちづくり」の京都モデルをさらに発展させます。



- 主な実績
- 京都ならではの地方創生「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略を推進
平成27年～令和元年の5年間で14,368人の転入超過、人口減少に一定の歯止め
- 「まちづくり・お宝バンク」を創設。340件を超える提案を登録し、
「スタートアップ支援ファンドの創設」などが実現
- 区役所・支所の機能強化。「企画課長」の配置、子育て支援コンシェルジュ機能を持つ
「子どもはぐくみ室」の設置、「子育て支援係長」の配置
- コンビニ納税の拡大、証明書のコンビニ交付の開始
- 窓口アンケート7項目全てで「満足度」95%以上を達成（過去最高）



**多様な主体が垣根を越えて
連携・行動するクロスセクターの
推進など、「みんなごとのまちづくり」を
一層進めます**

100回を超える市民の皆様との「おむすびミーティング」や、市民・地域・企業等から提案を頂き、共に実現をめざす「まちづくり・お宝バンク」の一層の充実、市民と協働して市政運営を行うファシリテーターの育成、市民・行政・NPO・企業・大学などの垣根を超え、多様な主体をつなぎ、広げ、共に行動するクロスセクターの推進など、「みんなごとのまちづくり」を一層進めます。

**人口減少・少子化の克服へ！
若者の移住・定住促進、交流人口・
関係人口の創出・拡大に取り組みます**

京都創生・SDGs推進総合戦略を策定し、若い世代の方々が子育てに喜びを感じ、それを市民ぐるみで支援するはぐくみ文化が息づくまちづくり、魅力と活力あるまちづくりなど、総合的な取組を進め、人口減少・少子化に歯止めをかけるとともに、交流人口や関係人口の創出・拡大に積極的に取り組みます。

**自治会・町内会への加入促進、
ICT活用支援など、地域コミュニティ
の更なる活性化に取り組みます**

住宅事業者・学校・企業等と連携し、転入者や新入社員、退職者への働きかけの強化、子どもに地域コミュニティの大切さを教える教育の充実など、自治会・町内会への加入を促進します。

ICTの活用により、自治会・町内会活動の事務負担軽減や、コミュニケーションの円滑化、防災・防犯・子育て等の地域活動情報の発信・共有等を支援し、担い手不足や役員の高齢化等の課題解決を図ります。

**徹底した市民参加・区民参加で、
まちづくりの指針となる基本計画を
策定・実行します**

対話型パブリックコメントの充実や、クリエイティブな発想でまちづくりに取り組む若者との連携による市民ぐるみの対話・交流、全ての区に設置した区民まちづくり会議での議論など、徹底した市民参加・区民参加で、次期京都市基本計画と各区の基本計画を策定し、実行します。

**区民に最も身近な区役所の
更なる機能強化に取り組みます**

各区の特性等に応じたまちづくりを進めるため、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」を充実します。

防災備蓄の充実や災害発生時の体制強化など、防災・安心安全拠点としての区役所・支所の機能強化を図ります。

区民の皆様とのワークショップ等でのご意見を踏まえ、西京区総合庁舎を令和5年度中に整備するとともに、南区新庁舎整備に向けた具体的な検討を進めます。

**満足度100%へ！
総合受付窓口や
フロア案内員の設置拡大、
マイナンバーの普及促進など、
窓口サービスや利便性の
一層の向上を図ります**

市民アンケートで95%以上の方から満足との高い評価を頂いている窓口サービスの更なる向上に向け、複数の手続きを一元的に受け付ける総合窓口やフロア案内員の設置拡大、AIやICT等の新たな技術を活用した窓口機能の強化などを進めます。

証明書発行コーナーでマイナンバーカードの申請・交付を開始するなど、マイナンバー制度の普及促進と一層の利便性の向上を図ります。



5 まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る！

10

**緊密な府市協調・
国との強固な連携・
近隣自治体との都市間連携、
オール京都による
京都全体の発展と、
持続可能な財政を実現します。**



- 主な実績
- 府市協調で、衛生環境研究所や消防学校の共同化、子ども医療費助成の拡充などを実現。
府市協調の更なる進化のため「府市政策連携・融合会議」を創設
- 市バス事業：路線・ダイヤの充実、バス待ち環境の向上など利便性の更なる向上。
平成26年度決算で達成した「一般会計に頼らない自立経営」を継続
- 地下鉄事業：1日5万人増客目標を達成（計画より2年前倒し。10年間で7万人増客）、
29年度決算で経営健全化団体から脱却（計画より1年前倒し）
- 市長就任後の12年間で3,300人以上の職員削減、人件費年間270億円を削減。
市の借金（実質的な市債残高）を全会計でピーク時（14年度）から4,300億円以上削減
- 宿泊税の導入（年間42億円）、資産運用収入の確保（4年間で110億円）



府市協調、オール京都、 近隣自治体との都市間連携、 国との強固な連携を強化し、 京都府全域の発展につなげます

消防学校や衛生環境研究所の共同化等の成果を挙げた全国トップレベルの府市協調を新たなステージへと発展させます。京都経済百年の計「京都経済センター」をモデルとし、企画構想段階から徹底して政策を練り、融合を進め、府市協調・オール京都で一体感のあるまちづくりを進めます。

さらに、近隣自治体との都市間連携、国との強固な連携を一層強化し、海・森・お茶の京都との連携、食を通じた広域観光の推進、河川や道路等のインフラ整備、広域災害を想定した防災力の強化、上下水道の広域化・広域連携の在り方検討など、市民の豊かさや安心安全の実現はもとより、京都府全体の発展につなげます。

京都の未来を支える 「京都みらい“夢”基金」を創設します

新たに「京都みらい“夢”基金」を創設し、京都の未来の担い手・支え手となる子ども・若者の健全育成や、京都の宝である文化財や匠の技等の継承など、志を同じくする市民、企業、関係団体、観光客等の幅広い皆様と共に未来への先行投資に取り組みます。

宿泊税に続く新たな財源を創出! 市民生活の豊かさにつなげます

宿泊税に続く新たな財源確保に向け、セカンドハウス所有者等への適正な負担や空き家課税の見直し・強化など、事業者や専門家も含めたプロジェクトチームを発足させ、あらゆる知恵を結集して検討・実行し、市民生活の向上や持続可能なまちづくりにつなげます。

新たな負担・課税には徴収の仕組み構築が重要であり、ICT技術の進歩を積極的にいかし、ロードプライシングなど更なる財源確保に向けた研究を進めます。

成長戦略等による財源創出と 徹底した歳出改革を両輪で進め、 財政構造の抜本改革を 成し遂げます

○福祉・教育・子育て支援を維持・充実し、市民の皆様への暮らしを支えるため、財政構造の抜本改革を断行し、特別の財源対策からの脱却をめざします。

○就労・結婚・出産・子育て等の希望がかない、住み続けることができるまちをめざし、高さ規制や用途規制等の柔軟な運用による新たな産業用地の創出・企業の立地促進、オフィス誘致、子育て世代向けの住宅供給などを進め、京都経済を活性化し、市民の豊かさ、税収の増加につなげます。

○京都ブランドをいかし、ネーミングライツ、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用等の税外収入の確保に努めます。

○行政責任の確保、市民サービスの維持・向上を図りつつ、「民間にできることは民間に」を基本とした民営化・民間委託を進めるとともに、人件費総額を4年間で100億円削減します。

○受益者負担の適正化など事業のあり方を総点検し、スクラップアンドビルドを徹底するほか、新たに事業を始める際には、期間をあらかじめ設定・公表し、期間経過後に自走化につなげる仕組みを導入します。



職員力、組織力の更なる向上を図り、 一層信頼される 市役所づくりを進めます

○職員育成、組織改革を一層推進し、コンプライアンスをさらに徹底するため、新たな「職員力・組織力向上プラン」を策定します。

○個別面接のみによる人物重視の「京都方式」採用の拡充、障害のある方を対象とした採用試験での精神・知的障害のある方の対象への追加、技術職等での受験しやすい採用試験や就職氷河期世代を対象とした新たな採用試験の創設など、採用制度を拡充します。

○職員の市内居住や地域活動への参加促進、国や民間企業等との人事交流拡大により、災害対応の迅速化や地域コミュニティの活性化を図るとともに、市民感覚、経営感覚を備えた職員を育成します。

○審議会への女性参加の推進や女性職員の幹部職員への登用をさらに進め、女性の視点をいかした市政を推進します。

○生産性向上や誰もが働きやすい環境整備に向け、AIやRPA等の新技術の活用、ペーパーレス会議の拡大、さらには、子育てや介護等の事情のある職員のモバイルワークやフレックスタイム導入に向けた検討など、働き方改革を一層進めます。



○防災対策、施設の老朽化対策など、京都の未来の礎となる投資は進めつつ、市の借金(実質市債残高。この10年で16%、約3,200億円削減)をさらに減らし、将来負担比率(この10年で240%から191%に改善)を引き下げ、政令市一厳しい状況の更なる改善を進めます。

○地方交付税の確保、臨時財政対策債の廃止など、持続可能な行財政の確立や、新たな大都市制度「特別自治市」創設に向けた検討を、他の政令指定都市とも連携して、国に強く働きかけます。

○こうした取組を外部の意見もお聞きしながら進め、令和5年度までの4年間で700億円以上の財源を生み出します。

○近年、金融市場でESG投資が注目されていることも踏まえ、SDGsの推進に資する市債を発行し、誰一人取り残さないSDGsの更なる普及に努めます。

○引き続きより分かりやすい「行政コストの見える化」を進めるとともに、市財政の状況を、市民に分かりやすく伝える「到達主義」の情報発信を進めます。

将来にわたり、 市バス・地下鉄事業を 安定的に運営できるよう、 経営基盤の強化に取り組みます

徹底したコスト削減や施設の長寿命化等を進めるとともに、市バス・地下鉄お客様数1日80万人達成をめざし、利便性・サービスの一層の向上による増客・増収に取り組みます。

市バス事業は、一般会計からの任意の財政支援を受けない運営を継続します。

地下鉄事業は、有利子負債を着実に削減し、法に基づく経営健全化計画(平成21年度～30年度)で予定していた運賃値上げを引き続き回避します。

基本政策



1 人生100年時代の「安心」を創る!

誰ひとり取り残さないSDGsの理念のもと、いのちとくらしを守る保健医療・福祉・介護、「子育て・教育環境日本一」を実感できる子育て支援・教育の充実

1 保健医療・福祉・介護を充実し、人生100年時代を見据えた、安心・安全「世界に誇れる健康長寿のまち・京都」をつくります。

ご高齢者や障害のあるひと、社会から孤立しているひとなど弱い立場のひと、誰もが住み慣れた地域で、互いを思いやり、いきいきと健やかに生活できるよう、保健医療、介護、生活支援など地域包括ケアの充実、生きがいづくり、ユニバーサルデザインの推進等を図り、誰ひとり取り残されることなく、包摂性のある孤立ゼロ・人権尊重の共生社会をめざします。

人生100年時代、京都ならではの市民力、地域力をいかし、地域活動や社会参加の促進、文化やスポーツ等を通じた体力づくりなどにより、市民の皆様がいつまでも健康で自立した日常生活が送れ、社会の担い手として生涯にわたって活躍できるよう「健康寿命の延伸」に取り組みます。

誰もが支えあい仕事と家庭生活、社会貢献・地域貢献を調和させることにより、心豊かな人生を送ることができる「真のワーク・ライフ・バランス」と、女性のさらなる活躍を推進します。

2 子育て家庭、子ども・若者の孤立ゼロ「子育て・教育環境日本一」、世界があこがれる「大学のまち・学生のまち京都」をさらに推進します。

京都ならではの「はぐくみ文化」を継承・発展させ、伝統と文化を学び、家族・地域の絆を大切に、社会全体で子育て・教育を高めあい、子どもを産み・育てる楽しさ・素晴らしさを実感できるまち、若者が夢と希望を持ち、幸せを実感できるまちを実現します。

子ども医療費のさらなる負担軽減や小児医療の充実、質の高い保育・幼児教育、ひとり親・貧困家庭・児童虐待など特に支援が必要な児童やその家庭へのサポート等の子育て支援、家庭環境や障害の有無に関わらず、すべての子どもの可能性を最大限に伸ばす質の高い教育環境の充実を、地域・保護者・学校・子育て支援機関等の連携のもとに進めます。

京都ならではの学びの充実や地域企業への就職支援など、次代の担い手として未来を切り拓く学生・若者への支援を充実します。

2 「いのち」を守る、防災減災先進のまちを創る!

しなやかで強靱なレジリエント・シティへ! 緑豊かで地球環境への負担が少なく、災害に強いまちづくり・ひとづくり

3 地域に根差した「災害に強いまちづくり・ひとづくり」で市民のいのちと暮らしを守ります。

相次ぐ自然災害の教訓を踏まえ、しなやかで強靱なレジリエント・シティをハード・ソフト両面からさらに推進します。

集中豪雨の被害を最小化するための河川や森林、下水道雨水幹線の整備等による「雨に強いまちづくり」、災害時の都市機能を確認するための広域道路ネットワークの整備や橋りょうの耐震補強、住宅の耐震改修、細街路・密集市街地の安全対策を加速します。

学区単位のコミュニティなど地域力をいかし、福祉力を高め、災害弱者に寄り添う仕組みづくり、災害時の避難所開設や運営、消防団・水防団・自主防災会・自治会・民生児童委員・老人福祉員・社会福祉協議会・保健協議会等との連携強化など、地域の防災力をさらに高めます。

4 CO₂排出正味ゼロへ!市民ぐるみで「環境にやさしい持続可能な脱炭素・循環型社会」を構築します。

京都ならではの、ものを大切にするしまつの心、木の文化など、先人から受け継いだ伝統を生かし、食品ロス、プラスチック等のごみ抑制をはじめ、2R(発生抑制、再使用)、分別・リサイクルの徹底など、ごみの出ない循環型社会を構築します。

原発に依存しない持続可能な社会の早期実現に向け、市民、地域、企業、大学等の総力を結集し、徹底した創エネ・省エネ、地産地消、森林など生物多様性豊かな自然環境の保全・再生、そのためのイノベーションの創出、民間と連携したLRTなど環境負荷の低い交通体系の構築、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を一層進め、2050年CO₂排出量正味ゼロをめざします。

3 力強い「経済」と都市の「活力」を創る!

文化・学術、大学の集積など、京都の強みをいかし、力強い経済と都市の活性化、市民の豊かさ実感

5 地域企業・中小企業の持続的発展と、知恵産業の創造、創業・イノベーションの創出など成長戦略で、力強い京都経済をつくります。

京都市、府、経済団体、オール京都で創設した京都経済センターを核に、地域企業・中小企業支援とイノベーション創出を強化します。

産学公連携による知恵産業育成や新産業創出、多様で活力ある中小企業・ベンチャー企業の成長支援、創業しやすい環境を整備するスタートアップ・エコシステムの構築、地域の暮らしを支え魅力をも高める商店街づくり、伝統産業の活性化、農林業の振興と食文化の創造・発信など、京都の強みを最

大限にいかした成長戦略を推進します。また、高い有効求人倍率の下での地域企業・中小企業の担い手確保、不本意非正規の正規雇用への転換、事業承継など持続的な発展を支援。京都のブランド力の更なる向上や、市民の購買力向上と地域での消費喚起などにより、経済のさらなる活性化と好循環、安定した雇用の創出を図り、市民の豊かさにつなげます。

6 安心と活力を生み出す持続可能な都市の構築と、ひとと公共交通優先の「歩いて暮らせるまち・京都」を推進します。

持続可能な都市構築と新景観政策の更なる進化に向けた都市計画の見直しにより、安心・安全で快適に暮らせる居住環境の形成、学術研究・先端産業等用地やオフィス空間の確保等による産業の活性化と働く場の確保、公共交通拠点を中心とした都市機能の集積など、まちなかも周辺部もそれぞれの特性に応じた、魅力や活力ある都市づくりを進めます。

産学公連携のもと、AI・IoT・ビッグデータなどSociety5.0^{*1}時代の技術を活用し、MaaS^{*2}や自動運転等の新たな交通システムの研究・導入など、誰もが安全・快適・便利に移動できる社会の実現をめざします。

交通機関をはじめ幅広い用途に活用できる京都カードの創設等市バス・地下鉄のさらなる利便性向上、モビリティ・マネジメント等による交通不便地域の公共交通維持・確保、安全で魅力的な歩行空間の創出、自転車利用環境の向上など、環境負荷の低減や健康増進にもつながる、ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」を一層推進します。

※1 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
※2 マイカー以外の全ての交通手段によるモビリティ(移動)を一つのサービスと捉え、シームレスに繋ぐ新たな移動の概念

4 文化のチカラで、くらしとこころの「豊かさ」を創る! 京都ならではの文化の継承・発展、新たな価値を創造し市民の豊かさにつなげ、 平和に貢献する「世界の文化首都・京都」の実現

7 豊かなくらしを支える「文化芸術・スポーツ都市」を実現、 市民生活を最優先に、地域の活性化、文化の継承・創造につながる 観光の京都モデルを構築します。

機能強化した「新・文化庁」との連携のもと、生活文化を重視し、文化と地域社会・産業・観光、文化と環境・福祉・教育の融合など文化を基軸としたまちづくりを一層深化・加速させ、都市格の更なる向上、文化と経済の好循環とともに、共生社会や平和の実現等さまざまな社会的課題の解決に挑戦します。

ゴールデン・スポーツイヤーズをレガシーに、スポーツで子ども・青少年の健全育成、地域の絆向上、健康長寿を推進。京都が誇る音楽文化をはじめ幅広い文化芸術の振興に取り組み、まちの賑わいと活力を創造する「文化芸術都市」と、市民が健康で文化的に暮らすことができる「スポーツ都市」をめざします。

市民生活を最重要視し、「混雑」、「マナー違反」、「宿泊施設の急増」など観光の今日的課題への対策を強力に推進。都市政策等のあらゆる手段を駆使し、地域文化の継承や市民の安心・安全を重視しない宿泊施設をお断りするなど、観光の課題「解決」先進都市を市民ぐるみで実現します。さらに、観光の質の向上やMICEの充実などにより、地域企業・中小企業や伝統産業・文化の振興、市民生活の豊かさにつながる持続可能な「京都モデル」の観光を構築します。

8 京都の自然や歴史・文化遺産など 「歴史力・地域力をいかしたまちづくり」を進めます。

京都が誇る山紫水明の自然景観、京町家等の風情豊かな歴史的な町並み景観を保全し、次世代にしっかりと継承します。

世界遺産をはじめとする歴史的な建造物や庭園、伝統行事やくらしの文化など、それぞれの地域が育んできた歴史・文化・産業遺産の未来への継承と創造的な活用、総合的な空き家対策の推進、京都市立芸術大学の移転を契機とした文化芸術によるまちの活性化・イノベーションの創出など、それぞれの地域特性をいかすとともに地域の課題解決につながる魅力あふれるまちづくりを市民との協働で進めます。

5 まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る! 参加と協働による「みんなごとのまちづくり」と、 府市協調・国や近隣自治体との連携のさらなる進化、持続可能な財政の確立

9 市民が主役の「みんなごとのまちづくり」と区役所機能の更なる強化で、 「参加と協働によるまちづくり」の京都モデルを発展させます。

市民・地域からの提案や行動で動かす「みんなごと」のまちづくり。クリエイティブな活動をする多様な主体をつなぎ、広げ、行動を起こす「クロスセクター」の推進など、さらに充実した取組を展開し、市民と行政が協働して、人口減少や少子化の克服、長寿社会への対応など京都のまちの様々な課題解決に挑戦します。

市民に最も身近な区役所・支所機能の更なる充実・強化や、地域コミュニティの活性化を図り、京都の誇る自治の伝統や各区の特色をいかした京都モデルの参加と協働による区のまちづくりを発展させます。

10 緊密な府市協調・国との強固な連携・近隣自治体との都市間連携、 オール京都による京都全体の発展と、持続可能な財政を実現します。

これまでから全国に先駆けて大きな成果を挙げてきた府市協調、経済界や大学、幅広い団体などオール京都、そして国との強固な連携を一層深め、京都府全域の発展につなげます。

市民生活の今と未来を守り、都市の成長を支える持続可能な行財政の確立に向け、あらゆる知恵を結集し、民間の活力をいかして財政構造の抜本改革を強力に進めます。

国と歩調を合わせた成長戦略や、空き家への課税見直しなど宿泊税に続く新たな収入確保等の財源創出と、人件費の抑制や更なる民間活力の導入など徹底した歳出削減を両輪で進めます。同時に、国に対し、実態に見合った地方財政の確立へ議会とともに抜本改革を要請します。

職員自らが率先して社会参加し、地域で京都のまちづくりに取り組むことはもとより、京都を愛し、公務に情熱と誇りをもって自ら考え行動し、市民と共に明るい未来を切り拓く職員の育成を進め、組織の縦横の連携をさらに強化し、市民、議会との信頼関係のもと、より一層の公平・公正・透明な市政を推進します。